平 成 30 年 度

山梨県公営企業会計決算審査意見書

山梨県監査委員

梨 監 第 511 号 令和元年 8 月 9 日

山梨県知事 長 崎 幸太郎 殿

 山梨県監査委員
 小 島
 徹

 同
 小 泉 久 司

 同
 山 田 一 功

 同
 桜 本 広 樹

平成30年度山梨県公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された平成30年度山梨県公営企業会計決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

平成30年度山梨県公営企業会計決算審査意見書

目 次

Ι	審	査	の	対	象				
П	審	査	Ø	期	間				
Ш	審	査	の	手	続				
IV	審査	を で	吉果及	及び意	意見』	生びに	こ決算	の概要	
		電気	[事]	集会 計	+				
			審到	査の約	吉果及	及び意	意見		1
			決	算	の	概	要		3
		温泉	見事学	集会 計	+				
			審了	査の約	吉果及	及び意	意見		17
			決	算	の	概	要		19
		地域	或振興	興事業	養会 言	+			
			審了	査の約	吉果及	をび 意	意見		31

34

決算の

I審査の対象

平成30年度 山梨県営電気事業会計

平成30年度 山梨県営温泉事業会計

平成30年度 山梨県営地域振興事業会計

Ⅱ審査の期間

令和元年7月12日から令和元年8月8日まで

Ⅲ審査の手続

平成30年度山梨県公営企業会計の決算審査に当たっては、各事業が地方公営企業法 その他関係法令に基づいて、常に経済性を発揮し、その本来の目的である公共の福祉を 増進するように運営されているか、決算書類が経営成績及び財政状態を適正に表示して いるか等について検証するため、決算報告書、附属書類、諸帳簿、証拠書類等を精査照 合するとともに、関係職員から概況を聴取し、併せて定例監査及び例月現金出納検査の 結果も踏まえて審査を行った。

IV 審査の結果及び意見並びに決算の概要

各事業会計の審査の結果及び意見並びに決算の概要は、それぞれの会計において述べるとおりである。

電気事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業 の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

1 経営状況について

平成30年度の経営状況は、10億5,707万9,828円の純利益を上げている。前年度に 比べ3億9,188万6,569円の増となっており、総収支比率は128.4%、経常収支比率は 128.5%であり、健全な経営に努めていると認められる。

当年度純利益が前年度より増加した要因は、降水量が増えたことにより電力料収入が増加するなど、収益が2億9,809万9,795円増加したことや、天科発電所改修事業の終了により修繕費が減少するなど、費用が9,378万6,774円減少したことによるものである。今後の経営においても、発電施設・設備を良好に維持していくため、老朽化が進む既存水力発電所の改良や修繕を計画的に進め、効率的な経営に一層努められたい。

2 財政状態について

平成30年度の財政状態は、自己資本構成比率が92.0%、固定資産対長期資本比率が61.3%、流動比率が1.046.8%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

今後とも経営の健全性を維持するため、積立金の計画的な積立てと適切な管理を行うなど、必要な資本の確保と財政基盤の強化を図り、安定的な事業経営に努められたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

平成30年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金の増加が20億4,963万6,552円であり、投資活動として有形固定資産の取得や一般会計への繰出金等により8億1,032万1,431円を支出、また、財務活動として企業債の償還等に1億4,639万6,198円を支出しており、平成30年度中の資金額は10億9,291万8,923円の増加となっている。

投資活動及び財務活動に係る支出は、業務活動により確保された資金の範囲内で行われており、資金繰りは引き続き安定した状況にあるとともに、企業債残高の債務償還能力についても特に問題ない。

今後も、財政を安定的に維持し、多額の支出となる発電施設の建設や改良など、必要な資金の確保に計画的に取り組むとともに、キャッシュ・フローの適正な管理に努められたい。

4 経営課題について

国の電力システム改革により、電力の小売全面自由化などが実施され、電気事業を取り巻く環境が変化する中、企業局においては、東京電力エナジーパートナー株式会社と共同で、企業局が発電した電力を県内企業等に安価に供給する事業を平成28年4月から開始し、平成31年4月からは内容を拡充して「やまなしパワーPlus(プラス)」として実施している。今後も電力市場や他の公営電気事業者の動向等を注視しながら、引き続き経営の健全性の維持が図られるよう的確に対応されたい。

また、電気事業で得られた利益を活用し、電気事業の遂行に支障のない範囲で一般会計への繰り出しをさらに行うことなどにより、産業経済の発展や県民福祉の増進に向けた利益の還元について検討されたい。加えて、水力発電による電力の安定供給と併せて、「やまなしエネルギービジョン」に掲げた「強い経済・しなやかな暮らしを支えるエネルギー社会」の実現に向け、小水力発電や太陽光発電等のクリーンエネルギーの開発と普及促進に取り組み、地球温暖化防止対策の推進に一層貢献されたい。

なお、地域振興事業に対する貸付金については、同事業の経営改善を図るため、施設の建設改良に係る貸付金を出資金に振り替えているが、貸付金の残高は依然として多額であることから、償還計画に基づき、着実に返済されるよう対応されたい。

決算の概要

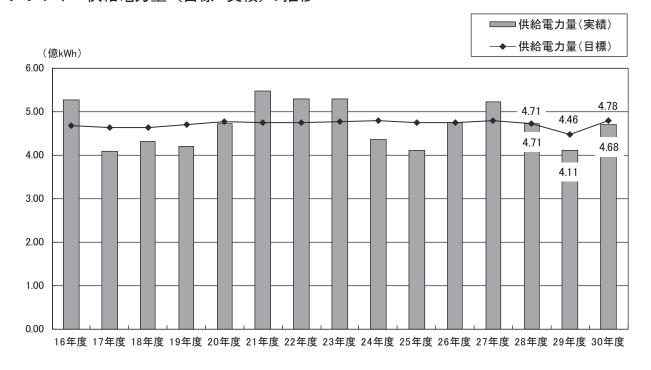
1 事業の概況

平成30年度は、早川水系6発電所、笛吹川水系11発電所、塩川発電所及び小水力6 発電所の24発電所を経営している。

営業関係については、東京電力エナジーパートナー株式会社及び東京電力パワーグリッド株式会社に対し、4 億 6,819 万 4,008 キロワットアワーの電力を供給し、電力料金収入は44 億 5,605 万 2,919 円である。

また、固体高分子型水電解大面積セルスタック評価設備設置工事を執行するとともに、長期改修計画により既存発電所の改良・修繕工事を逐次実施し、電力の安定供給と保守管理の効率化に努めている。

グラフ1 供給電力量(目標・実績)の推移



2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収 入(収益)

収益的収入の決算額は51億4,484万6,378円で、予算額50億3,941万円に比較し、 1億543万6.378円の増となっており、予算額に対する割合は102.1%である。

イ 支 出(費用)

収益的支出の決算額は40億2,721万4,715円で、4億9,476万6,323円の不用額があり、予算額45億3.593万1.839円に対する決算額の割合は88.8%である。

不用額の主なものは、営業費用である。

(2) 資本的収入及び支出

ア収入

資本的収入の決算額は32億5,086万3,777円で、予算額32億6,287万4,000円に比較し、1,201万223円の減となっており、予算額に対する割合は99.6%である。

イ 支 出

資本的支出の決算額は44億3,356万6,335円で、翌年度繰越額は8億6,385万1,489円で、4億6,340万3,377円の不用額があり、予算額57億6,082万1,201円に対する決算額の割合は77.0%である。

不用額の主なものは、水力発電設備改良費である。

ゥ 収支不足補塡

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 11 億 8,270 万 2,558 円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,039 万 6,299 円、減債積立金 1 億 4,576 万 8,198 円、建設改良積立金 2,364 万 4,615 円、地域文化振興等積立金 3 億 3,813 万 9,000 円及び過年度分損益勘定留保資金 6 億 1,475 万 4,446 円で補塡している。

3 経 営 成 績 (別表1 比較損益計算書、別表4 経営分析表参照)

平成 30 年度の営業収益、財務収益及び事業外収益を合わせた経常収益 47 億 7,469 万 8,339 円から、営業費用、財務費用及び事業外費用を合わせた経常費用 37 億 1,681 万 3,214 円を差し引いた 10 億 5,788 万 5,125 円が経常利益となり、前年度に比べ 4 億 512 万 1,595 円増加している。また、経常利益に特別利益 53 万 3,329 円を加え、特別損失 133 万 8,626 円を差し引いた 10 億 5,707 万 9,828 円が当年度純利益となっており、前年度に比べ 3 億 9,188 万 6,569 円増加している。

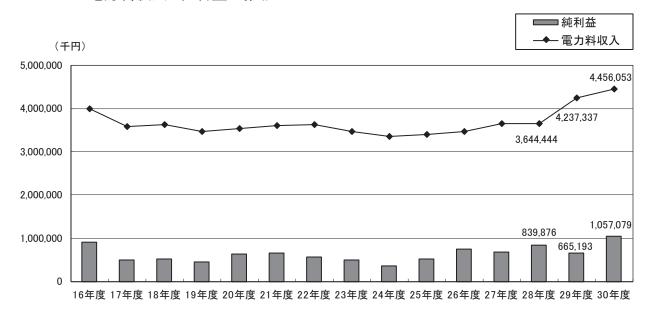
経常収益の内訳は、営業収益 44 億 6,028 万 6,299 円、受取利息としての財務収益 254 万 5,622 円、事業外収益 3 億 1,186 万 6,418 円である。事業外収益の主なものは、 P 2 G の委託収入等の雑収益 1 億 6,836 万 7,878 円のほか、長期前受金戻入として計上した 7,280 万 4,801 円、米倉山実証試験太陽光発電所等の電力料収入による 5,396 万 5,452 円 である。

経常費用の内訳は、営業費用 34 億 3,538 万 6,809 円、支払利息としての財務費用 1,841 万 8,158 円、事業外固定資産管理費等としての事業外費用 2 億 6,300 万 8,247 円である。

特別利益の内訳は、過年度損益修正益 53 万 3,329 円である。過年度損益修正益の主なものは、前期末の棚卸資産の修正による 53 万 3,050 円である。

特別損失の内訳は、過年度損益修正損 133 万 8,626 円である。過年度損益修正損の主なものは、過年度に取得した固定資産の減価償却開始時期の修正による 133 万 7,147 円 である。

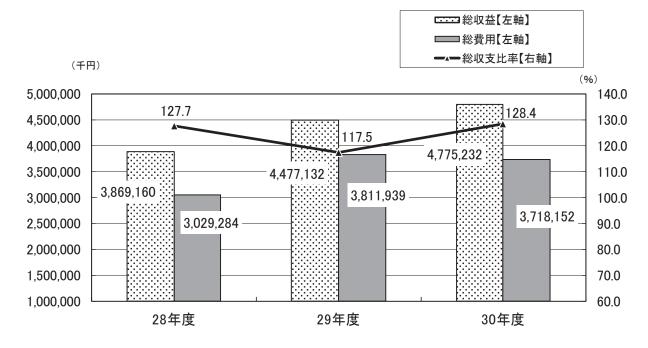
グラフ2 電力料収入・純利益の推移



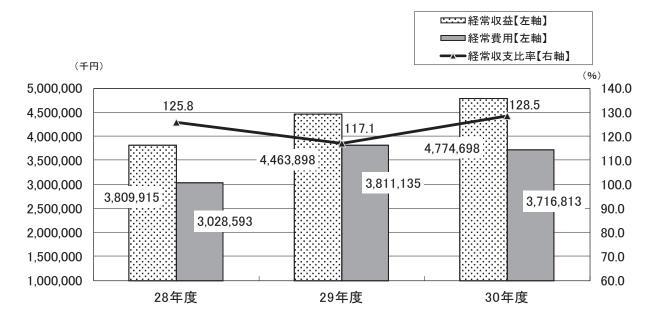
事業の総費用が総収益によって、どの程度賄われているかを示す総収支比率は、 128.4%となっており、前年度に比べ10.9 ポイントの上昇となっている。

同様に、経常費用が経常収益によって、どの程度賄われているかを示す経常収支比率は、128.5%となっており、前年度に比べ11.4 ポイントの上昇となっている。

グラフ3 総収支比率の推移



グラフ4 経常収支比率の推移



4 剰余金計算書及び剰余金処分計算書

○ 剰余金計算書

(1) 資 本 金

前年度末残高 266 億 2,848 万 7,539 円に、未処分利益剰余金からの組み入れ 15 億 9,950 万 5,653 円を加えた 282 億 2,799 万 3,192 円が、平成 30 年度末残高となっている。

(2) 資本剰余金

ア 受贈財産評価額

前年度末残高 17 万 9,430 円と同額の 17 万 9,430 円が、平成 30 年度末残高となっている。

イ その他資本剰余金

前年度末残高8,440円と同額の8,440円が、平成30年度末残高となっている。

以上の平成30年度末残高を合計した資本剰余金合計は、18万7,870円となっている。

(3) 利益剰余金

ア 減債積立金

前年度末残高7億3,774万1,960円から、企業債償還財源として取り崩した1億4,576万8,198円を差し引いた5億9,197万3,762円が、平成30年度末残高となっている。

イ 利益積立金

前年度末残高 6 億 9,400 万円に、前年度未処分利益剰余金処分額 600 万円を加えた 7 億円が、平成 30 年度末残高となっている。

ウ 建設改良積立金

前年度末残高 24 億 7,632 万 6,107 円に、前年度未処分利益剰余金処分額 4 億 919 万 3,259 円を加え、建設改良の財源として取り崩した 2,364 万 4,615 円を差し引いた 28 億 6,187 万 4,751 円が、平成 30 年度末残高となっている。

エ 中小水力発電開発改良積立金

前年度末残高 10 億 2,329 万 175 円と同額の 10 億 2,329 万 175 円が、平成 30 年 度末残高となっている。

オ 地域文化振興等積立金

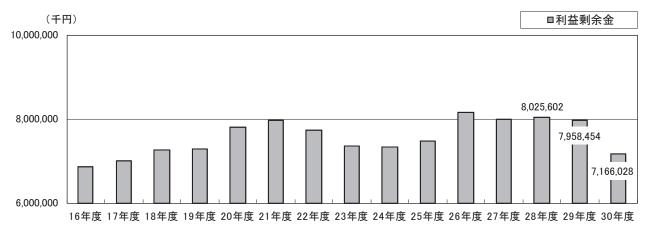
電気事業の推進・啓発、地域の文化振興並びにクリーンエネルギー、環境保全及び子育で支援への寄与を目的とする本積立金は、前年度末残高7億6,239万7,127円に、前年度未処分利益剰余金処分額2億5,000万円を加え、地域文化振興等の財源として取り崩した8,813万9,000円と一般会計への繰り出し2億5,000万円を差し引いた6億7,425万8,127円が、平成30年度末残高となっている。

カ 未処分利益剰余金

前年度未処分利益剰余金 22 億 6,469 万 8,912 円から、前年度未処分利益剰余金 処分額 22 億 6,469 万 8,912 円を差し引き、当年度純利益 10 億 5,707 万 9,828 円と その他未処分利益剰余金変動額 2 億 5,755 万 1,813 円を加えた 13 億 1,463 万 1,641 円が、当年度未処分利益剰余金となっている。

以上の平成30年度末残高を合計した利益剰余金合計は、71億6,602万8,456円となっている。

グラフ5 利益剰余金の推移



(4) 資本合計

前年度末残高 345 億 8,712 万 9,690 円から、平成 30 年度中の利益剰余金の減少変動分 2 億 5,000 万円を差し引き、当年度純利益 10 億 5,707 万 9,828 円を加えた、353 億 9,420 万 9,518 円が、平成 30 年度末残高となっている。

○ 剰余金処分計算書(案)

当年度未処分利益剰余金 13 億 1,463 万 1,641 円のうち、利益積立金に 3,600 万円、建設改良積立金に 1 億 2,000 万円、地域文化振興等積立金に 9 億 107 万 9,828 円を積み立て、資本金へ 2 億 5,755 万 1,813 円を組み入れ、翌年度繰越利益剰余金は 0 円となっている。

5 財 政 状 態

(別表2 比較貸借対照表、別表4 経営分析表参照)

(1) 資 産

資産総額は395億9,319万2,231円で、前年度に比べ8億4,198万5,225円の増となっている。

これは主として、現金預金が増加したことによるものである。

(2) 負 債

負債総額は41億9,898万2,713円で、前年度に比べ3,490万5,397円の増となっている。

これは主として、未払金(未払消費税)が増加したことによるものである。

(3) 資 本

資本総額は353億9,420万9,518円で、前年度に比べ8億707万9,828円の増となっている。

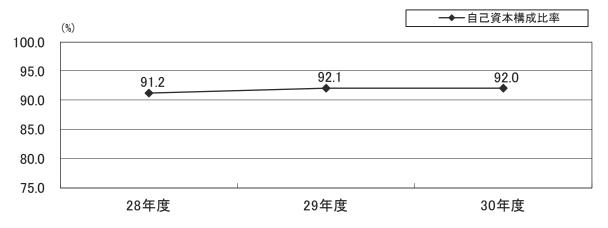
これは主として、前年度未処分利益剰余金に計上し、平成30年度に組み入れた資本金が増加したことによるものである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、92.0%となっており、前年度に比べ 0.1 ポイントの低下となっている。

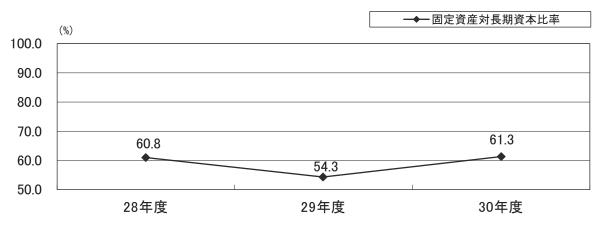
固定資産がどの程度長期安定資金で賄われているかを示す固定資産対長期資本比率は、61.3%となっており、前年度に比べ7.0ポイントの上昇となっている。

また、短期的な支払い能力を表し、経営の安全性と信用性を示す流動比率は、1,046.8%となっており、前年度に比べ236.7ポイントの低下となっている。これは主として、短期貸付金等の流動資産が減少したことによるものである。

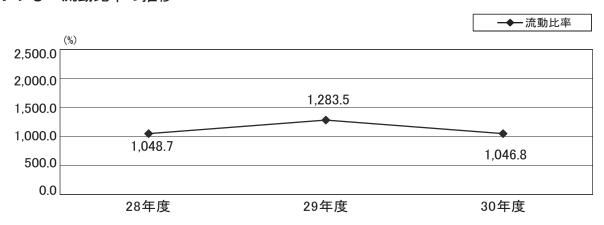
グラフ6 自己資本構成比率の推移



グラフ7 固定資産対長期資本比率の推移



グラフ8 流動比率の推移



6 キャッシュ・フローの状況

(別表3 比較キャッシュ・フロー計算書参照)

業務活動によるキャッシュ・フローは 20 億 4,963 万 6,552 円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは 8 億 1,032 万 1,431 円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは 1 億 4,639 万 6,198 円の減少となり、平成 30 年度中の資金増加額は 10 億 9,291 万 8,923 円となっている。

この結果、前年度末の現金等残高 142 億 5,691 万 6,788 円に平成 30 年度中の資金増加額 10 億 9,291 万 8,923 円を加えた 153 億 4,983 万 5,711 円が平成 30 年度末の現金等残高となっている。

平成30年度の業務活動により確保した当年度純利益や減価償却費などの資金は20億4,963万6,552円である。

投資活動による資金の減少は 8 億 1,032 万 1,431 円であり、固定資産の取得などによるものである。

財務活動による資金の減少は1億4,639万6,198円であり、主な原因は、企業債の償還によるものである。公営企業の健全性に関する経営指標である債務償還年数は、0.29年であり、前年度に比べ1.19年短くなっている。

7 主な工事等

- (1) 建 設 工 事 固体高分子型水電解大面積セルスタック評価設備設置工事を実施している。
- (2) 改 良 工 事 西山ダム維持放流設備設置工事外 14 件を実施している。
- (3) 保 存 工 事 奈良田第一・第二発電所水車発電機等分解点検工事外 24 件を実施している。
- (4) 調 査 工 事 保川発電所用地測量調査業務委託外 6 件を実施している。
- (5) 撤 去 工 事 ポリ塩化ビフェニル廃棄物 (特別管理産業廃棄物) 処理委託外 2 件を実施している。

比 較 損 益 計 算 書

電気事業会計

(単位:円、%)

区分 平成 28 年度 平成 29 年度 平成 30 年度										
区分	平成 28 年				すう埶	A det	平成 30 年度			
科目	金額	利益率	金額	利益率	すう勢比 率	金額	利益率	すう勢比 率	対前年度差引額	
1 営業収益 (A)	3,648,002,240	_	4,241,401,164	_	116.3	4,460,286,299	_	122.3	218,885,135	
(1) 電 力 料	3,644,443,921	_	4,237,337,354	_	116.3	4,456,052,919	_	122.3	218,715,565	
(2) (営業)雑収益	3,558,319	_	4,063,810	_	114.2	4,233,380	_	119.0	169,570	
2 営業費用 (B)	2,882,210,264	_	3,575,567,331	_	124.1	3,435,386,809	_	119.2	△ 140,180,522	
(1) 早川水系水力発電費	1,230,389,843	_	1,341,416,837	_	109.0	1,416,870,109	_	115.2	75,453,272	
(2) 笛吹川水系水力発電費	773,656,422	_	1,131,741,282	_	146.3	823,704,030	_	106.5	△ 308,037,252	
(3) 塩川発電所水力発電費	38,435,824	_	43,727,952	_	113.8	55,929,022	_	145.5	12,201,070	
(4) 総合制御所水力発電費	282,055,117	_	252,191,122	_	89.4	251,455,728	_	89.2	△ 735,394	
(5) 小水力発電費	45,674,368	_	60,009,668	_	131.4	62,728,949	_	137.3	2,719,281	
(6) 一般管理費	511,998,690	_	746,480,470	_	145.8	824,698,971	_	161.1	78,218,501	
営業利益 (A)-(B)=(C)	765,791,976	21.0	665,833,833	15.7	86.9	1,024,899,490	23.0	133.8	359,065,657	
3 財務収益 (D)	5,797,960	_	3,025,301	_	52.2	2,545,622	_	43.9	△ 479,679	
(1) 受 取 利 息	5,797,960	_	3,025,301	_	52.2	2,545,622		43.9	△ 479,679	
4 事業外収益 (E)	156,114,587	_	219,471,826	_	140.6	311,866,418		199.8	92,394,592	
(1) 電 力 料	54,840,590	_	55,416,173	_	101.0	53,965,452	_	98.4	△ 1,450,721	
(2) 長期前受金戻入	81,517,094	_	74,174,766	_	91.0	72,804,801	_	89.3	△ 1,369,965	
(3) 引 当 金 戻 入	0	_	0	_		15,468,187	-		15,468,187	
(4) 雑 収 益	18,985,303	_	89,880,887	_	473.4	168,367,878	_	886.8	78,486,991	
(5) 消費税及び地方消費税還付金	771,600	_	0	_	0.0	1,260,100	_	163.3	1,260,100	
5 財務費用 (F)	28,897,207	_	23,337,323	_	80.8	18,418,158	_	63.7	△ 4,919,165	
(1) 支 払 利 息	28,897,207	_	23,337,323	_	80.8	18,418,158	_	63.7	△ 4,919,165	
6 事業外費用 (G)	117,485,395	_	212,230,107	_	180.6	263,008,247	_	223.9	50,778,140	
(1) 事業外固定資産管理費	117,058,616	_	179,515,015	_	153.4	257,282,033	_	219.8	77,767,018	
(2) 雑 損 失	426,779	_	32,715,092	_	7,665.6	5,726,214	_	1,341.7	△ 26,988,878	
経常利益 (C)+(D)+(E)-(F)-(G)=(H)	781,321,921	21.4	652,763,530	15.4	83.5	1,057,885,125	23.7	135.4	405,121,595	
7 特 別 利 益 (I)	59,245,663	_	13,233,582	_	22.3	533,329	_	0.9	△ 12,700,253	
(1) 固定資産売却益	781,141	_	1,122,799	_	143.7	0	_	0.0	△ 1,122,799	
(2) 過年度損益修正益	58,464,522	_	12,110,783	_	20.7	533,329	_	0.9	△ 11,577,454	
8 特 別 損 失 (J)	690,950	_	803,853	_	116.3	1,338,626	_	193.7	534,773	
(1) 固定資産売却損	25,306	_	63,926	_	252.6	0	_	0.0	△ 63,926	
(2) 過年度損益修正損	665,644	_	739,927	_	111.2	1,338,626	_	201.1	598,699	
当年度純利益 (H)+(I)-(J)=(K)	839,876,634	23.0	665,193,259	15.7	79.2	1,057,079,828	23.7	125.9	391,886,569	
前年度繰越利益剰余金 (L)	0	_	0	_		0	_		0	
その他未処分利益剰余金変動額 M	482,341,443	_	1,599,505,653	_	331.6	257,551,813	_	53.4	△ 1,341,953,840	
当年度未処分利益剰余金 (K)+(L)+(M)	1,322,218,077	_	2,264,698,912	_	171.3	1,314,631,641	_	99.4	△ 950,067,271	
経常収益 (A)+(D)+(E)=(N)	3,809,914,787	_	4,463,898,291	_	117.2	4,774,698,339	_	125.3	310,800,048	
経常費用 (B)+(F)+(G)=(O)	3,028,592,866	_	3,811,134,761	_	125.8	3,716,813,214	_	122.7	△ 94,321,547	
総収益 (A)+(D)+(E)+(I)=(P)	3,869,160,450	_	4,477,131,873	_	115.7	4,775,231,668	_	123.4	298,099,795	
総費用 (B)+(F)+(G)+(J)=(Q)	3,029,283,816	_	3,811,938,614	_	125.8	3,718,151,840	_	122.7	△ 93,786,774	

[※] 利益率は、営業収益に対する営業利益、経常利益、当年度純利益の割合を示した。 また、すう勢比率は、平成28年度を100.0とした。 利益率、すう勢比率とも小数第2位を四捨五入した。

比 較 貸 借 対 照 表

電気事業会計

(単位:円、%)

_	(単位:円、%)										
*J		区分	平成 28 年度		平成 29		- こ 参加			0年度	
科	Н		金額	構成比率	金 額	構成比率	すう勢比 率	金額	(神成) 比率	すう勢比 率	対前年度差引額
	1 固	定 資 産	22,645,118,176	58.4	20,251,239,081	52.3	89.4	23,309,757,946	58.9	102.9	3,058,518,865
	(1)	電気事業固定資産	14,408,219,933	37.2	15,315,585,196	39.5	106.3	15,206,026,083	38.4	105.5	△ 109,559,113
	イ	水力発電設備	43,454,370,880	36.9	44,694,059,835	39.3	106.4	44,901,448,058	38.2	105.7	207,388,223
		減価償却累計額	△ 29,160,056,533	00.0	△ 29,481,206,384	00.0	100.1	△ 29,793,272,210	00.2	100.1	△ 312,065,826
	口	送 電 設 備	40,524,276	0.0	40,524,276	0.0	96.2	40,524,276	0.0	96.2	0
		減価償却累計額	△ 33,109,222	0.0	△ 33,388,251	0.0	30.2	△ 33,388,251	0.0	30.2	0
資	ハ	業務設備	247,029,310	0.3	243,988,828	0.2	89.8	244,261,406	0.2	85.2	272,578
		減価償却累計額	△ 140,538,778	0.0	△ 148,393,108	0.2	05.0	△ 153,547,196	0.2	00.2	△ 5,154,088
	(2)	事業外固定資産	1,843,046,616	4.8	1,792,667,905	4.6	97.3	1,773,143,125	4.5	96.2	△ 19,524,780
	イ	事業外固定資産	2,336,027,659	4.8	2,353,331,659	4.6	97.3	2,396,302,699	4.5	96.2	42,971,040
産		減価償却累計額	△ 492,981,043	4.0	△ 560,663,754	4.0	91.0	△ 623,159,574	4.0	30.2	△ 62,495,820
	(3)	投資その他の資産	6,393,851,627	16.5	3,142,985,980	8.1	49.2	6,330,588,738	16.0	99.0	3,187,602,758
	イ	出 資 金	0	0.0	0	0.0		3,222,071,683	8.1		3,222,071,683
の	П	長期貸付金	6,293,515,737	16.2	3,042,651,960	7.9	48.3	3,008,183,035	7.6	47.8	△ 34,468,925
	ハ	長期前払費用	335,890	0.0	334,020	0.0	99.4	334,020	0.0	99.4	0
	Ξ	その他の投資	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	100.0	100,000,000	0.3	100.0	0
수17	2 流	動 資 産	16,135,525,692	41.6	18,499,967,925	47.7	114.7	16,283,434,285	41.1	100.9	△ 2,216,533,640
部	(1)	見 金 預 金	15,382,411,797	39.7	14,256,916,788	36.8	92.7	15,349,835,711	38.8	99.8	1,092,918,923
	(2)	未 収 金	329,289,573	0.8	902,516,689	2.3	274.1	776,504,082	2.0	235.8	△ 126,012,607
	(3)	拧 蔵 品	19,759,371	0.1	6,889,516	0.0	34.9	7,265,449	0.0	36.8	375,933
	(4)	短期貸付金	55,514,336	0.1	3,250,863,777	8.4	5,855.9	34,468,925	0.1	62.1	△ 3,216,394,852
	(5)	前 払 費 用	88,761	0.0	98,363	0.0	110.8	89,714	0.0	101.1	△ 8,649
	(6) Ī	前 払 金	348,456,000	0.9	82,682,200	0.2	23.7	115,270,400	0.3	33.1	32,588,200
	(7)	その他流動資産	5,854	0.0	592	0.0	10.1	4	0.0	0.1	△ 588
	資	産 合 計	38,780,643,868	100.0	38,751,207,006	100.0	99.9	39,593,192,231	100.0	102.1	841,985,225

	区分	平成 28 年度		平成 29			<u> </u>		0 年度	
科	il .	金額	構成比率	金額	構成比率	すう勢比 率	金額	構成比率	すう勢比 率	対前年度差引額
	3 固 定 負 債	1,880,530,628	4.8	1,601,624,564	4.1	85.2	1,595,075,320	4.0	84.8	△ 6,549,244
	(1) 企 業 債	737,741,960	1.9	591,973,762	1.5	80.2	442,151,764	1.1	59.9	△ 149,821,998
	イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	737,741,960	1.9	591,973,762	1.5	80.2	442,151,764	1.1	59.9	△ 149,821,998
	(2) リース債務	628,000	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
負	(3) 引 当 金	1,042,160,668	2.7	909,650,802	2.3	87.3	1,052,923,556	2.7	101.0	143,272,754
	イ 退職給付引当金	784,658,668	2.0	773,816,802	2.0	98.6	838,756,556	2.1	106.9	64,939,754
	口 特別修繕引当金	257,502,000	0.7	135,834,000	0.4	52.8	214,167,000	0.5	83.2	78,333,000
	(4) その他固定負債	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	100.0	100,000,000	0.3	100.0	0
	4 流 動 負 債	1,538,553,593	4.0	1,441,347,361	3.7	93.7	1,555,606,803	3.9	101.1	114,259,442
債	(1) 企 業 債	170,966,987	0.4	145,768,198	0.4	85.3	149,821,998	0.4	87.6	4,053,800
	イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	170,966,987	0.4	145,768,198	0.4	85.3	149,821,998	0.4	87.6	4,053,800
	(2) リース債務	1,884,000	0.0	628,000	0.0	33.3	0	0.0	0.0	△ 628,000
	(3) 未 払 金	404,956,417	1.0	570,136,026	1.5	140.8	879,213,991	2.2	217.1	309,077,965
	(4) 未 払 費 用	1,227,782	0.0	865,201	0.0	70.5	723,089	0.0	58.9	△ 142,112
の	(5) 前 受 金	14,018,400	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
	(6) 引 当 金	944,795,359	2.4	715,318,134	1.8	75.7	525,336,107	1.3	55.6	△ 189,982,027
	イ 退職給付引当金	75,774,825	0.2	42,161,869	0.1	55.6	47,214,693	0.1	62.3	5,052,824
	口賞与引当金	70,894,554	0.2	70,030,285	0.2	98.8	74,995,434	0.2	105.8	4,965,149
立 [7	ハ修繕引当金	403,125,980	1.0	403,125,980	1.0	100.0	403,125,980	1.0	100.0	0
部	ニ 特別修繕引当金	395,000,000	1.0	200,000,000	0.5	50.6	0	0.0	0.0	△ 200,000,000
	(7) その他流動負債	704,648	0.0	8,631,802	0.0	1,225.0	511,618	0.0	72.6	△ 8,120,184
	5 繰 延 収 益	1,189,623,216	3.1	1,121,105,391	2.9	94.2	1,048,300,590	2.6	88.1	△ 72,804,801
	(1) 長期前受金	1,419,194,411	3.7	1,419,540,900	3.7	100.0	1,419,411,601	3.6	100.0	△ 129,299
	(2) 収益化累計額	△ 229,571,195	△ 0.6	△ 298,435,509	△ 0.8	130.0	△ 371,111,011	△ 0.9	161.7	△ 72,675,502
	負 債 合 計	4,608,707,437	11.9	4,164,077,316	10.7	90.4	4,198,982,713	10.6	91.1	34,905,397

	区分	平成 28 年度		平成 29			- -		0 年度	
科		金額	構成 北率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	対前年度差引額
	6 資 本 金	26,146,146,096	67.4	26,628,487,539	68.7	101.8	28,227,993,192	71.3	108.0	1,599,505,653
	7 剰 余 金	8,025,790,335	20.7	7,958,642,151	20.5	99.2	7,166,216,326	18.1	89.3	△ 792,425,825
	(1) 資本剰余金	187,870	0.0	187,870	0.0	100.0	187,870	0.0	100.0	0
資	イ 受贈財産評価額	179,430	0.0	179,430	0.0	100.0	179,430	0.0	100.0	0
	ロ その他資本剰余金	8,440	0.0	8,440	0.0	100.0	8,440	0.0	100.0	0
本	(2) 利 益 剰 余 金	8,025,602,465	20.7	7,958,454,281	20.5	99.2	7,166,028,456	18.1	89.3	△ 792,425,825
の	イ 減債積立金	908,708,947	2.3	737,741,960	1.9	81.2	591,973,762	1.5	65.1	△ 145,768,198
	口利益積立金	414,687,000	1.1	694,000,000	1.8	167.4	700,000,000	1.8	168.8	6,000,000
部	ハ 建設改良積立金	2,779,842,421	7.2	2,476,326,107	6.4	89.1	2,861,874,751	7.2	103.0	385,548,644
	二 中小水力発電開発改良積立金	1,914,556,527	4.9	1,023,290,175	2.6	53.4	1,023,290,175	2.6	53.4	0
	ホ 地域文化振興等積立金	685,589,493	1.8	762,397,127	2.0	111.2	674,258,127	1.7	98.3	△ 88,139,000
	へ 当年度未処分利益剰余金	1,322,218,077	3.4	2,264,698,912	5.8	171.3	1,314,631,641	3.3	99.4	△ 950,067,271
	資 本 合 計	34,171,936,431	88.1	34,587,129,690	89.3	101.2	35,394,209,518	89.4	103.6	807,079,828
	負債資本合計	38,780,643,868	100.0	38,751,207,006	100.0	99.9	39,593,192,231	100.0	102.1	841,985,225

[※] すう勢比率は、平成28年度を100.0とした。また、構成比率及びすう勢比率は、小数第2位を四捨五入した。

比較キャッシュ・フロー計算書

電気事業会計

(単位:円)

			(単位:円)
	平成 29 年度	平成 30	年度
	金額	金 額	対前年度差引額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	l .		
当年度純利益	665,193,259	1,057,079,828	391,886,569
減価償却費	815,562,879	811,862,590	△ 3,700,289
固定資産除却損	61,121,874	66,303,274	5,181,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 44,454,822	69,992,578	114,447,400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 864,269	4,965,149	5,829,418
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 316,668,000	△ 121,667,000	195,001,000
長期前受金戻入	△ 74,174,766	△ 72,804,801	1,369,965
過年度損益修正益	0	△ 533,050	△ 533,050
過年度損益修正損	0	1,337,147	1,337,14
受取利息及び受取配当金	△ 3,025,301	△ 2,545,622	479,679
支払利息	23,337,323	18,418,158	△ 4,919,165
固定資産売却益	△ 1,122,799	0	1,122,799
固定資産売却損	63,926	0	△ 63,926
未収金の増減額(△は増加)	△ 574,035,056	125,953,318	699,988,374
前払費用の増減額(△は増加)	△ 9,602	8,649	18,25
前払金の増減額(△は増加)	5,917,800	△ 738,200	△ 6,656,000
未払金の増減額 (△は減少)	△ 75,998,814	111,639,335	187,638,149
未払費用の増減額(△は減少)	△ 196,681	4,414	201,099
前受金の増減額(△は減少)	△ 14,018,400	0	14,018,40
その他流動資産の増減額 (△は増加)	5,262	588	
その他流動負債の増減額(△は減少)	7,927,154	△ 8,120,184	△ 16,047,333
貯蔵品の増減額(△は増加)	12,869,855	△ 375,933	△ 13,245,788
その他(非現金収入)	12,003,000	△ 255,300	\triangle 13,245,700 \triangle 255,300
その他(非現金支出)	32,278,750	5,071,387	△ 27,207,36
小計	519,709,572	2,065,596,325	1,545,886,75
利息及び配当金の受取額	3,833,241	2,604,911	△ 1,228,330
利息の支払額	△ 23,503,223	△ 18,564,684	4,938,539
業務活動によるキャッシュ・フロー	500,039,590	2,049,636,552	1,549,596,96
未協心動になるヤヤックュークロー	500,059,590	2,049,030,332	1,049,090,902
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,263,698,276	△ 570,501,414	693,196,862
有形固定資産の売却による収入	1,686,833	0	△ 1,686,833
無形固定資産の取得による支出	△ 1,843,446	△ 18,612,111	$\triangle 16,768,668$
国庫補助金による収入	5,656,941	0	△ 5,656,941
一般会計への繰出金による支出	△ 250,000,000	△ 250,000,000	(
貸付金の回収による収入	55,514,336	3,250,863,777	3,195,349,44
出資金の増減額(△は増加)	0	△ 3,222,071,683	△ 3,222,071,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,452,683,612	△ 810,321,431	642,362,18
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
	↑ 170 0GC 097	↑ 145 769 109	25 100 700
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 170,966,987	△ 145,768,198	25,198,789
リース債務の返済による支出 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,884,000 △ 172,850,987	△ 628,000 △ 146,396,198	1,256,000
対防心動によるナヤツンユ・ノロー	△ 1/2,000,96/	△ 140,390,198	26,454,789
資金増加額(又は減少額)	△ 1,125,495,009	1,092,918,923	2,218,413,932
資金期首残高	15,382,411,797	14,256,916,788	△ 1,125,495,009
資金期末残高	14,256,916,788	15,349,835,711	1,092,918,923
ᆽᆇ끼గᄹ미	14,200,310,700	13,348,030,711	1,032,310,32

- ※ 本キャッシュ・フローは間接法によって作成されている。※ 債務償還年数(企業債残高÷業務活動によるキャッシュ・フロー)は、0.29 となっている。

経 営 分 析 表

電気事業会計

(単位:%)

		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総収	支 比 率	山梨県	127.7	117.5	128.
		全国平均	136.6	130.1	-
計算式	 総収益÷総費月	月×100			
説明	は、収益で費用 ○総収益 = 営	目を賄えないことと 業収益 + 財務収益	よってどの程度賄われなり、健全な経営とはい + 事業外収益 + 特別和 + 事業外費用 + 特別和	刊益	率が 100%未満の場合
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経 常 収	支 比 率	山梨県	125.8	117.1	128.
		全国平均	135.9	130.5	-
計算式	 経常収益÷経常	常費用×100			
説明	常利益率が高い ○経常収益 =		6未満であることは経常 益 + 事業外収益	有われているかを示す。 損失が生じていることを	
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
自己資本	構成比率	山梨県	91.2	92.1	92.
		全国平均	79.8	81.6	-
計算式	(資本金+剰余	金+評価差額等+総	操延収益)÷負債資本合詞	+×100	
説明	自己資本構成上	比率は、総資本に対	する自己資本の割合を示	にす。この比率が高いほど	経営の安定度が高い
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
固定資産対	長期資本比率	山梨県	60.8	54.3	61.
		全国平均	68.0	68.1	-
計算式	固定資産÷(資	本金+剰余金+評価	m差額等+固定負債+繰	延収益)×100	
説明				定資金で賄われているか な資金を固定資産に投入	• - •
1	1	区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
流 動	比 率	山梨県	1,048.7	1,283.5	1,046.
		全国平均	688.0	707.7	-
計算式	流動資産÷流動	助負債×100			

^{※ 「}全国平均」欄に記載した数値は、地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)の法適用企業電気事業に係る数値を引用した。

温泉事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業 の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

1 経営状況について

平成30年度の経営状況は、給湯量の減少に伴い温泉供給収益が447万8,620円減少、経常収益が1億3,111万1,488円と前年度に比べ429万4,859円減少し、修繕費等の増により温泉管理費が158万9,105円増加したことから、経常収支比率は95.8%と前年度に比べ4.5ポイント低下している。

また、総収支比率も84.7%と前年度に比べ15.5ポイント低下しており、経常損失に特別利益290万9,705円を加え、特別損失2,143万7,115円を差し引いた2,429万5,071円が当年度純損失となっている。特別損失の内訳は、過年度に取得した固定資産の減価償却開始時期の修正により、減価償却費の不足額の計上等を行ったものである。過年度損益の修正は、過去の経営成績や財政状態の表示にも影響を及ぼすものであるので、なお一層の経理事務の適正化に努められたい。

今後の経営については、旅館・ホテル等の温泉使用量の節減等による給湯量・温泉供 給収益の低下や、給湯施設の老朽化に伴う配湯管敷設替工事などの投資も引き続き見込 まれることから、新たな給湯先の確保や経営の効率化に努められたい。

2 財政状態について

平成30年度の財政状態は、自己資本構成比率が98.2%、固定資産対長期資本比率が73.2%、流動比率が1.608.4%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

平成 30 年度末の温泉供給料金未収金は、固定資産の破産更生債権等 789 万 5,415 円に、流動資産の未収金 2,006 万 1,303 円を加えた 2,795 万 6,718 円であり、このうち納期限を過ぎたものは 1,709 万 7,218 円である。

これまでもその解消に向けて、鋭意努力しているところではあるが、公営企業としての経営の健全性や公平負担の観点から、滞納者の状況を個々に把握し適切に対応していくなど未収金の回収に向け、なお一層努力されたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

平成 30 年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金が 3,214 万 2,055 円増加し、投資活動として有形固定資産の取得などにより 2,715 万 7,787 円減少したことから、平成 30 年度中の資金額は 498 万 4,268 円の増加となっている。財務活動によるキャッシュ・フローについては増減がなかった。

平成30年度末の現金等残高については、前年度に比べ1.2%増加の4億1,833万2,197円となっており、営業収益に対する比率は340.4%と事業規模に対して十分に確保されている。

温泉事業の経営は、現状、借入金はないが、今後も配湯管の敷設替工事等が引き続き 見込まれることから、経営状況等について的確な現状把握を行い、キャッシュ・フロー の適正な管理に一層努められたい。

4 経営課題について

平成30年度の総給湯量は70万8,071立方メートルと前年度に比べ4.0%減少している。 また、温泉供給契約口数も490口と前年度より4口減少し、温泉供給収益は、前年度に 比べ447万8,620円の減少となっている。

今後の温泉事業の経営に当たっては、温泉の湧出量や給湯実績を適切に把握し、給湯 見込等を考慮した上で、新規契約者の募集を行うなど、温泉供給収益の安定的な確保に 努められたい。

温泉事業は、これまでも、地元自治体や関係団体等と連携して、温泉資源の保護と地域振興に努めてきたが、今後の経営戦略の見直しに当たっては、県民福祉の増進に寄与するという企業局の役割を踏まえ、温泉事業のあり方を展望するとともに、収益の減少や施設の更新のための投資等、将来にわたる経営環境に十分留意した計画を検討されたい。

決算の概要

1 事業の概況

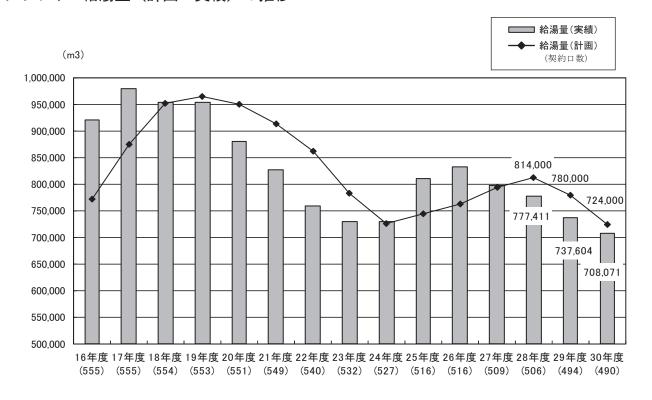
県営石和温泉は、温泉の保護と地域振興を目的に5本の源泉を保有し、平成30年度末で、旅館、保養施設、一般家庭など282件の給湯契約を締結しており、合計490口の契約口数がある。

営業関係については、平成 30 年度の計画給湯量 72 万 4,000 立方メートルに対し、実績給湯量は 70 万 8,071 立方メートル(対前年度比 96.0%)で、温泉供給料金収入は 1 億 2,272 万 9,684 円(対前年度比 96.5%)となった。

工事関係は、温泉施設改修工事を行った。

なお、平成30年9月に4号源泉を温泉非該当とし、4号源泉に係る送湯管の延長を 減じたことから、送湯管及び配湯管の改良実績は1万780.2メートルになり、全体計画 1万2.029.7メートルに対する進捗率は89.6%である。

グラフ1 給湯量(計画・実績)の推移



2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収 入(収益)

収益的収入の決算額は1億4,385万9,477円で、予算額1億4,453万9,000円に 比較し、67万9,523円の減となっており、予算額に対する割合は99.5%である。 これは、営業収益が見込みを下回ったためである。

イ 支 出(費用)

収益的支出の決算額は 1 億 6,591 万 6,887 円で、710 万 9,113 円の不用額があり、予算額 1 億 7,302 万 6,000 円に対する決算額の割合は 95.9%である。

不用額の主なものは、営業費用である。

(2) 資本的収入及び支出

ア収入

固定資産売却代金として予算額1万円を計上したが、執行がなかったため、決算額は0円である。

イ 支 出

資本的支出の決算額は 2,933 万 410 円で、4,108 万 9,590 円の不用額があり、予 算額 7.042 万円に対する決算額の割合は 41.7%である。

不用額の主なものは、温泉事業設備改良費の執行残である。

ウ 収支不足補塡

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 2,933 万 410 円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 217 万 2,623 円及び過年度分損益勘定留保資金 2,715 万 7,787 円で補塡している。

3 経 営 成 績 (別表1 比較損益計算書、別表4 経営分析表参照)

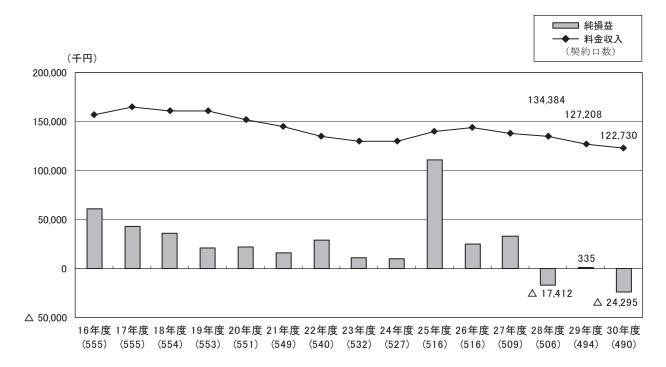
平成 30 年度の経常収益 1 億 3,111 万 1,488 円から、経常費用 1 億 3,687 万 9,149 円を 差し引いた 576 万 7,661 円が経常損失となっており、前年度に比べ 612 万 6,562 円減少している。

また、経常損失に特別利益 290 万 9,705 円を加え、特別損失 2,143 万 7,115 円を差し引いた 2,429 万 5,071 円が当年度純損失となっており、前年度に比べ 2,463 万 164 円減少している。

経常収益の内訳は、営業収益 1 億 2,288 万 7,344 円と営業外収益 822 万 4,144 円である。 このうち営業外収益の主なものは、長期前受金戻入額の 766 万 3,944 円である。

経常費用の内訳は、営業費用 1 億 3,663 万 665 円と営業外費用 24 万 8,484 円である。 このうち営業費用の主なものは、温泉施設改修工事の完了により固定資産に計上された ことによる、減価償却費 4,470 万 2,836 円である。

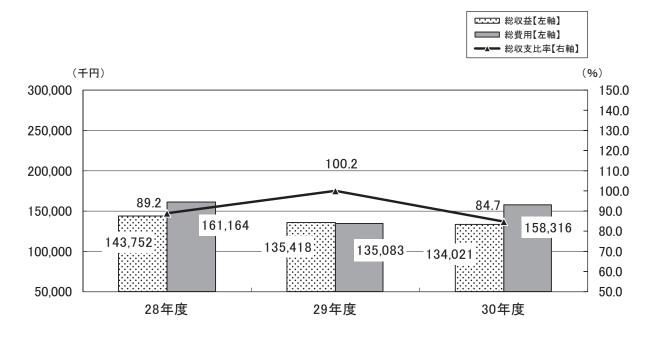
グラフ2 料金収入・純損益の推移



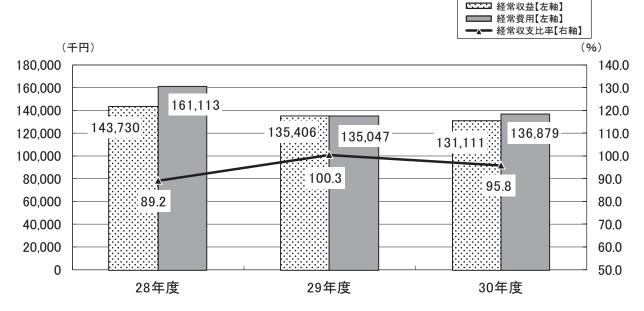
事業の総費用が総収益によって、どの程度賄われているかを示す総収支比率は、84.7%となっており、前年度に比べ15.5ポイント低下している。これは、前年度に比べ営業収益が減少した一方で、特別損失が大きく増加したことによるものである。

同様に、経常費用が経常収益によって、どの程度賄われているかを示す経常収支比率は、95.8%となっており、前年度に比べ 4.5 ポイント低下している。

グラフ3 総収支比率の推移



グラフ4 経常収支比率の推移



4 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

○ 剰余金計算書

(1) 資 本 金

前年度末残高 11 億 9,113 万 1,366 円に、未処分利益剰余金からの組み入れ 4,341 万 円を加えた 12 億 3,454 万 1,366 円が、平成 30 年度末残高となっている。

(2) 利益剰余金

ア利益積立金

前年度末残高から変動はなく、7,072 万 5,368 円が平成 30 年度末残高となっている。

イ 建設改良積立金

前年度末残高 1 億 3,071 万 9,697 円に、建設改良積立金の積立額 33 万 5,093 円を加えた 1 億 3,105 万 4,790 円が平成 30 年度末残高となっている。

ウ 地域観光振興積立金

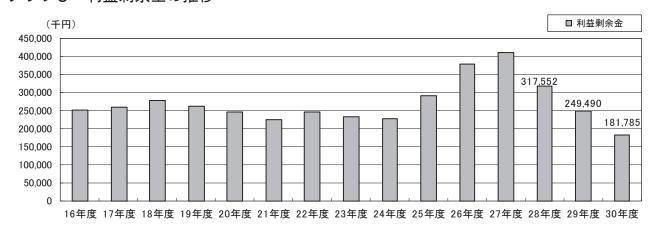
前年度末残高から変動はなく、430万円が平成30年度末残高となっている。

工 未処分利益剰余金

前年度未処分利益剰余金 4,374 万 5,093 円から、前年度未処分利益剰余金処分額 4,374 万 5,093 円を差し引き、当年度純損失 2,429 万 5,071 円を差し引いた 2,429 万 5,071 円が、当年度未処理欠損金となっている。

以上の平成30年度末残高を合計した利益剰余金合計は、1億8,178万5,087円となっている。

グラフ5 利益剰余金の推移



(3) 資本合計

前年度末残高 14 億 4,062 万 1,524 円に、当年度純損失 2,429 万 5,071 円を差し引いた 14 億 1,632 万 6,453 円が、平成 30 年度末残高となっている。

〇 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金 2,429 万 5,071 円に、利益積立金から 2,429 万 5,071 円を繰り入れて翌年度繰越欠損金は 0 円となっている。

5 財政状態

(別表 2 比較貸借対照表、別表 4 経営分析表参照)

(1) 資 産

資産総額は15億5,326万6,920円で、前年度に比べ3,828万4,947円の減となっている。

これは主として、実地照合により除却漏れのあった構築物の除却を実施したため構築物が減少したものである。

また建設仮勘定で実施した工事について全て本勘定へ計上している。

(2) 負 債

負債総額は1億3,694万467円で、前年度に比べ1,398万9,876円の減となっている。 これは工事負担金の減少により長期前受金が減少したことによるものである。

(3) 資 本

資本総額は14億1,632万6,453円で、前年度に比べ2,429万5,071円の減となっている。

これは主として、過年度取得した固定資産の減価償却開始時期の修正を行い、過年 度損益修正損を計上したことによるものである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、98.2%となっており、前年度に比べ

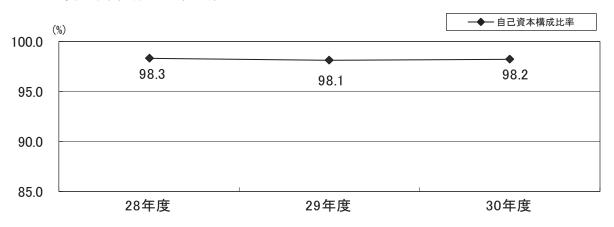
0.1 ポイントの上昇となっている。

固定資産がどの程度長期安定資金で賄われているかを示す固定資産対長期資本比率は、73.2%となっており、前年度に比べ 0.9 ポイントの低下となっている。

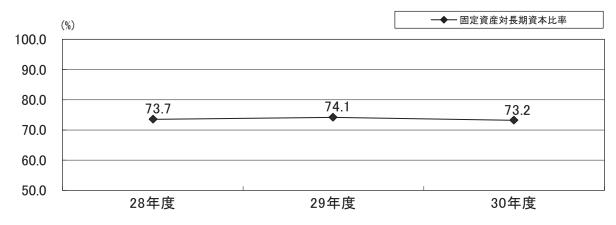
また、短期的な支払い能力を表し、経営の安全性と信用性を示す流動比率は、1,608.4%となっており、前年度に比べて184.0 ポイントの上昇となっている。

これは主として、未払金の減少で、流動負債が減少したことによるものである。

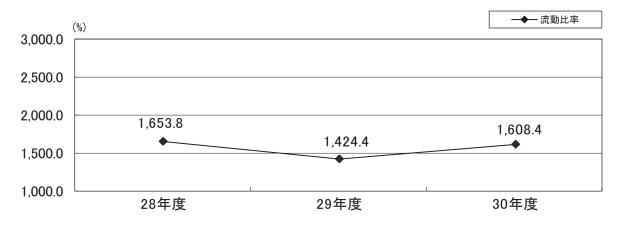
グラフ6 自己資本構成比率の推移



グラフ7 固定資産対長期資本比率の推移



グラフ8 流動比率の推移



6 キャッシュ・フローの状況 (別表3 比較キャッシュ・フロー計算書参照)

業務活動によるキャッシュ・フローは 3,214 万 2,055 円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは 2,715 万 7,787 円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは 0 円で増減なしとなり、平成 30 年度中の資金額は 498 万 4,268 円の増加となっている。

この結果、前年度末の現金等残高 4 億 1,334 万 7,929 円に、平成 30 年度中の資金増加額 498 万 4,268 円を加えた 4 億 1,833 万 2,197 円が、平成 30 年度末の現金等残高となっている。

投資活動によるキャッシュ・フローの減少の原因は、温泉事業設備の改良等によるものである。

7 主な工事等

- (1) 建設工事 1号源泉建屋建築工事1件を実施している。
- (2) 改良工事 場内整備工事(1号源泉周辺の公園整備)1件を実施している。

比 較 損 益 計 算 書

温泉事業会計

(単位:円、%)

経日	区分	平成 28 年	连度	亚成	29 年度			亚成	30 年度	(単位:円、%)
1 営業収益 (A) 134,553,706 - 127,370,340 - 94.7 122,887,344 - 91.3	科目				1		金 額	1		対前年度差引額
22 その他営業収益 169,300	1 営業収益 (A)		_		_					△ 4,482,996
2 常業費用 B 161,109,938 - 135,041,560 - 83.8 136,630,665 - 84.8 1,589,109 (1) 温泉管理費 161,109,938 - 135,041,560 - 83.8 136,630,665 - 84.8 1,589,109 営業利益 (ハー田ー口	(1) 温泉供給収益	134,384,406	_	127,208,304	_	94.7	122,729,684	_	91.3	△ 4,478,620
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	(2) その他営業収益	169,300	_	162,036	_	95.7	157,660	_	93.1	△ 4,376
営業利益 (A)-(B)-(C) △ 26.566.232 △ 19.7 △ 7.671.220 △ 6.0 28.9 △ 13.743.321 △ 11.2 51.8 △ 6.072.10 3 営業外収益 (D) 9,176.780 - 8.036.007 - 87.6 8.224.144 - 89.6 188.13 (D) 9,176.780 - 111.123 - 45.2 69.162 - 28.1 △ 41.96 (D) 長期前受金戻入 8.066.416 - 7.911.844 - 98.1 7.663.944 - 95.0 △ 247.90 (3) 雑収 益 817.785 - 40 - 0.0 276.650 - 33.8 276.614 (4) 消費及び地方消費経営住金 46.500 - 13.000 - 28.0 0 - 0.0 △ 13.000 (5) 引 当 金 戻入 0 - 0 - 0 - 214.388 - 214.388 - 214.388 (3) (4) 消费及び地方消费経営住金 46.500 - 13.000 - 28.0 0 - 0.0 △ 13.000 (5) 引 当 金 戻入 0 - 0 - 0 - 248.484 - 7.459.7 242.599 (1) 雑 文 出 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.599 (1) 雑 文 出 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.599 (1) 維 文 出 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.599 (1) 海年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 海年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 海年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 海年度損益修正益 22.730 - 35.506 - 70.4 21.437.115 - 42.483.4 21.401.600 (2) 海年度積益修正損 22.740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 (6) (2) 海年度積益修正損 22.720 - 35.506 - 156.3 21.437.115 - 42.483.4 21.401.600 (1) 固定資産売却損 27.740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 (6) (2) 海年度積益修正損 22.720 - 35.506 - 156.3 21.437.115 - 94.353.5 21.401.600 (1) 西年度機利益額余金金動館 (G) 6.397.000 - 43.410.000 - 63.5 0 - 0.0 △ 43.410.000 - 63.5 0 - 0.0 △ 43.410.000 - 63.5 △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金金動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 △ 19.8 139.5 △ 24.680.160 前年度未収分利益約余金金動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金金動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金を動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金を動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金を動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度未収分利益約余金を動館 (G) 68.397.000 - 43.410.000 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度上度 (G) 4.40.400 - 63.5 △ 24.295.071 - △ 47.7 △ 68.040.160 (1) 年度上度 (G) 4.40	2 営業費用 (B)	161,109,938	_	135,041,560	_	83.8	136,630,665	_	84.8	1,589,105
3 営業外収益 (D) 9,176,780 - 8,036,007 - 87.6 8,224,144 - 89.6 188,13 (1) 受取利息 246,079 - 111,123 - 45.2 69,162 - 28.1 △41,66 (2) 長期前受金戻入 8,066,416 - 7,911,844 - 98.1 7,663,944 - 95.0 △247,300 (3) 維収益 817,785 - 40 - 0.0 276,650 - 33.8 276,614 (4) 前費級が地方前後處付金 46,500 - 13,000 - 28.0 0 - 0.0 △13,000 (5) 引当金戻入 0 - 0 - 214,388 - 214,388 - 214,388 (5) 円 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 (1) 維支力出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 (1) 維支力出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 (1) 維支力出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 (1) 維支力出 6、21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,889.0 2,898,007 (1) 過年度積益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,889.0 2,898,007 (1) 過年度積益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,889.0 2,898,007 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 (6) (2) 過年度積益修正損 22,720 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,605 (1) 固定資産売利損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 (6) (2) 過年度積益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,605 (1) 両年度機處利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	(1) 温泉管理費	161,109,938	_	135,041,560	_	83.8	136,630,665	_	84.8	1,589,105
(1) 受取利息 246,079 - 111,123 - 45.2 69,162 - 28.1 △41,96 (2) 長期前受金戻入 8,066,416 - 7,911,844 - 98.1 7,663,944 - 95.0 △247,90 (3) 維収益 817,785 - 40 - 0.0 276,650 - 33.8 276,61(4) 消費投び地方消費経過位 46,500 - 13,000 - 28.0 0 - 0.0 △13,000 (5) 引当金戻入 0 - 0 - 214,388 - 214,388 4 営業外費用 (日 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 維支出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (1) 加車度損益修正金 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,00° (1) 加車度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,00° (1) 加車度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,00° (1) 加車度積益修正益 22,720 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,609 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0	営業利益 (A)-(B)=(C)	△ 26,556,232	△ 19.7	△ 7,671,220	△6.0	28.9	△ 13,743,321	△ 11.2	51.8	△ 6,072,101
(2) 長期前受金戻入 8,066,416 - 7,911,844 - 98.1 7,663,944 - 95.0 △ 247,90(3) 雑 収 益 817,785 - 40 - 0.0 276,650 - 33.8 276,611 (4) 消費設及で地消費設置位金 46,500 - 13,000 - 28.0 0 - 0.0 △ 13,000 (5) 引 当 金 戻 入 0 - 0 - 214,388 - 214,388 - 214,388 (1) 雑 支 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (2) 2 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (2) 2 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (2) 2 出 2 出 2 出 2 出 2 出 2 出 2 出 2 出 2 出 2	3 営業外収益 (D)	9,176,780	_	8,036,007	_	87.6	8,224,144	_	89.6	188,137
(3) 雑 収 益 817.785 - 40 - 0.0 276,650 - 33.8 276,610 (4) 消費級が地方消費総付金 46,500 - 13,000 - 28.0 0 - 0.0 △ 13,000 (5) 引 当 全 戻 人 0 - 0 - 214,388 - 214,388 - 214,388 (1) 雑 文 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 雑 文 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 雑 文 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 雑 文 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 雑 文 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 独 文 出 3,332 - 6,126,566 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,590 (1) 砂 年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 砂 年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 砂 年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 砂 年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 砂 年度積益修正益 22,720 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,600 (1) 固 定資産売却損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,600 (2) 過年度執列益列金を動類 仮 17,411,511 △ 12.9 335,093 0.3 △ 1.9 △ 24,295,071 △ 19.8 139.5 △ 24,630,160 (1) 中度未処分利益列余金 (3) ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○	(1) 受 取 利 息	246,079	_	111,123	_	45.2	69,162	_	28.1	△ 41,961
(4) 消費設及び地方消費設置付金 46.500 - 13,000 - 28.0 0 - 0.0 △ 13,000 (5) 引 当 金 戻 入 0 - 0 - 0 - 214,388 - 214,388 4 営 業 外 費 用 (E) 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 (1) 雑 支 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599 経常利益 (C)+(D)-(E)=(F) △ 17,382,783 △ 12.9 358,901 0.3 △ 2.1 △ 5,767,661 △ 4.7 33.2 △ 6,126,566 5 特 別 利 益 (G) 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 過年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 固年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 固年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 固年度資益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 固年度資金を売却損 27,740 - 0 - 0.0	(2) 長期前受金戻入	8,066,416		7,911,844		98.1	7,663,944		95.0	△ 247,900
(5) 引 当 金 戻 入 0 - 0 - 176.7 214,388 - 214,388 4 営 業 外 費 用 (E) 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,598 (II) 雑 支 出 3,331 - 5,886 - 176.7 248,484 - 7,459.7 242,599	(3) 雑 収 益	817,785	_	40	_	0.0	276,650	_	33.8	276,610
4 営業外費用 (E) 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.59(1) 雑 支 出 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.59(24.598) 経常利益 (C)+(D)-(E)=(F) △ 17.382.783 △ 12.9 358.901 0.3 △ 2.1 △ 5.767.661 △ 4.7 33.2 △ 6.126.56(25.5 特別利益 (G) 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 過年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 過年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.00 (1) 固定資産売却損 27.740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22.720 - 35.506 - 156.3 21.437.115 - 94.353.5 21.401.609 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(H) △ 17.411.511 △ 12.9 335.093 0.3 △ 1.9 △ 24.295.071 △ 19.8 139.5 △ 24.630.166 (自) 前年度榮越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	(4) 消費税及び地方消費税還付金	46,500	_	13,000	_	28.0	0	_	0.0	△ 13,000
(1) 雑 支 出 3.331 - 5.886 - 176.7 248.484 - 7.459.7 242.594 経常利益 (C)+(D)-(E)=(F) △17.382.783 △12.9 358.901 0.3 △2.1 △5.767.661 △4.7 33.2 △6.126.565 5 特 別 利 益 (G) 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.007 (1) 過年度損益修正益 21.732 - 11.698 - 53.8 2.909.705 - 13.389.0 2.898.007 6 特 別 損 失 (D) 50.460 - 35.506 - 70.4 21.437.115 - 42.483.4 21.401.605 (1) 固定資産売却損 27.740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22.720 - 35.506 - 156.3 21.437.115 - 94.353.5 21.401.605 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △17.411.511 △12.9 335.093 0.3 △1.9 △24.295.071 △19.8 139.5 △24.630.166 前年度繰越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	(5) 引 当 金 戻 入	0	_	0	_		214,388	_		214,388
経常利益 (C)+(D)-(E)=(F) △ 17,382,783 △ 12.9 358,901 0.3 △ 2.1 △ 5,767,661 △ 4.7 33.2 △ 6,126,565 5 特 別 利 益 (G) 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,00° 6 特 別 損 失 (日) 50,460 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,605 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,605 (F)+(G)-(H)=(I) △ 17,411,511 △ 12.9 335,093 0.3 △ 1.9 △ 24,295,071 △ 19.8 139.5 △ 24,630,166 (1) 中度業越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	4 営業外費用 (E)	3,331	_	5,886	_	176.7	248,484	_	7,459.7	242,598
5 特別利益(G) 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 (1) 過年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 6 特別損失(印) 50,460 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,605 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,605 (中)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (中)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (中)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 (I)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △24,295,071 ~ △47.7 △68,040,164 (I)+(G)-(H)=(H) (I)+(H)+(H) (I)+(H) (I)	(1) 雑 支 出	3,331	_	5,886	_	176.7	248,484	_	7,459.7	242,598
(1) 過年度損益修正益 21,732 - 11,698 - 53.8 2,909,705 - 13,389.0 2,898,007 6 特 別 損 失 (日 50,460 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,609 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,609 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,166 前年度繰越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	経常利益 (C)+(D)-(E)=(F)	△ 17,382,783	△ 12.9	358,901	0.3	△ 2.1	△ 5,767,661	△ 4.7	33.2	△ 6,126,562
6 特別損失 (中) 50,460 - 35,506 - 70.4 21,437,115 - 42,483.4 21,401,608 (1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,608 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △17,411,511 △12.9 335,093 0.3 △1.9 △24,295,071 △19.8 139.5 △24,630,164 前年度繰越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 ○ ○ ○ ○	5 特 別 利 益 (G)	21,732	_	11,698	_	53.8	2,909,705	_	13,389.0	2,898,007
(1) 固定資産売却損 27,740 - 0 - 0.0 0 - 0.0 0 - 0.0 (2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,609 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △ 17,411,511 △ 12.9 335,093 0.3 △ 1.9 △ 24,295,071 △ 19.8 139.5 △ 24,630,166 前年度繰越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - (Q) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	(1) 過年度損益修正益	21,732	_	11,698	_	53.8	2,909,705	_	13,389.0	2,898,007
(2) 過年度損益修正損 22,720 - 35,506 - 156.3 21,437,115 - 94,353.5 21,401,608 当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △ 17,411,511 △ 12.9 335,093 0.3 △ 1.9 △ 24,295,071 △ 19.8 139.5 △ 24,630,166 前年度繰越利益剩余金 (J) 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0	6 特別損失畑	50,460	_	35,506	_	70.4	21,437,115	_	42,483.4	21,401,609
当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I) △ 17,411,511 △ 12.9 335,093 0.3 △ 1.9 △ 24,295,071 △ 19.8 139.5 △ 24,630,164 前年度繰越利益剰余金(J) 0 − 0 − 0 − 0 − 0 その他未処分利益剰余金変動額(以 68,397,000 − 43,410,000 − 63.5 0 − 0.0 △ 43,410,000 当年度未処分利益剰余金 (I)+(J)+(K) 50,985,489 − 43,745,093 − 85.8 △ 24,295,071 − △ 47.7 △ 68,040,164 経常収益 (A)+(D)=(L) 143,730,486 − 135,406,347 − 94.2 131,111,488 − 91.2 △ 4,294,858 経常費用 (B)+(E)=(M) 161,113,269 − 135,047,446 − 83.8 136,879,149 − 85.0 1,831,708 総収益 (A)+(D)+(G)=(N) 143,752,218 − 135,418,045 − 94.2 134,021,193 − 93.2 △ 1,396,852	(1) 固定資産売却損	27,740	_	0	_	0.0	0	_	0.0	0
(F)+(G)-(H)=(I)	(2) 過年度損益修正損	22,720	_	35,506	_	156.3	21,437,115	_	94,353.5	21,401,609
その他未処分利益剰余金変動額(K) 68,397,000 - 43,410,000 - 63.5 0 - 0.0 △ 43,410,000 当年度未処分利益剰余金 (1)+(J)+(K) 50,985,489 - 43,745,093 - 85.8 △ 24,295,071 - △ 47.7 △ 68,040,164 経常収益 (A)+(D)=(L) 143,730,486 - 135,406,347 - 94.2 131,111,488 - 91.2 △ 4,294,858 経常費用 (B)+(E)=(M) 161,113,269 - 135,047,446 - 83.8 136,879,149 - 85.0 1,831,703 総収益 (A)+(D)+(G)=(N) 143,752,218 - 135,418,045 - 94.2 134,021,193 - 93.2 △ 1,396,852	当年度純利益 (F)+(G)-(H)=(I)	△ 17,411,511	△ 12.9	335,093	0.3	△ 1.9	△ 24,295,071	△ 19.8	139.5	△ 24,630,164
当年度未処分利益剰余金 (T)+(J)+(K) 50,985,489 - 43,745,093 - 85.8 △ 24,295,071 - △ 47.7 △ 68,040,164	前年度繰越利益剰余金 (J)	0	_	0	_		0	_		0
経常収益 (A)+(D)=(L) 143,730,486 - 135,406,347 - 94.2 131,111,488 - 91.2 △ 4,294,859 経常費用 (B)+(E)=(M) 161,113,269 - 135,047,446 - 83.8 136,879,149 - 85.0 1,831,709 総収益 (A)+(D)+(G)=(N) 143,752,218 - 135,418,045 - 94.2 134,021,193 - 93.2 △ 1,396,852	その他未処分利益剰余金変動額 (K)	68,397,000	_	43,410,000	_	63.5	0	_	0.0	△ 43,410,000
経常費用 (B)+(E)=(M) 161,113,269 - 135,047,446 - 83.8 136,879,149 - 85.0 1,831,703 総収益 (A)+(D)+(G)=(N) 143,752,218 - 135,418,045 - 94.2 134,021,193 - 93.2 △ 1,396,852	当年度未処分利益剰余金 (I)+(J)+(K)	50,985,489	_	43,745,093	_	85.8	△ 24,295,071	_	△ 47.7	△ 68,040,164
経常費用 (B)+(E)=(M) 161,113,269 - 135,047,446 - 83.8 136,879,149 - 85.0 1,831,703 総収益 (A)+(D)+(G)=(N) 143,752,218 - 135,418,045 - 94.2 134,021,193 - 93.2 △ 1,396,852	経常収益 (A)+(D)=(L)	143,730,486	_	135,406,347	_	94.2	131,111,488	_	91.2	△ 4,294,859
			_		_			_		1,831,703
								!		
総費用 (B)+(E)+(H)=(O) 161,163,729 - 135,082,952 - 83.8 158,316,264 - 98.2 23,233,312	総収益 (A)+(D)+(G)=(N)	143,752,218	_	135,418,045	_	94.2	134,021,193	_	93.2	△ 1,396,852
	総費用 (B)+(E)+(H)=(O)	161,163,729	_	135,082,952	_	83.8	158,316,264	_	98.2	23,233,312

[※] 利益率は、営業収益に対する営業利益、経常利益、当年度純利益の割合を示した。 すう勢比率は、平成28年度を100.0とした。 また、利益率、すう勢比率とも小数第2位を四捨五入した。

比 較 貸 借 対 照 表

温泉事業会計

(単位:円、%)

		平成 28 年月								(単位:円、%)
	区分		平成 29				平成 30 年度			
科		金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	対前年度差引額
	1 固 定 資 産	1,156,262,967	72.5	1,156,714,382	72.7	100.0	1,117,192,082	71.9	96.6	
	(1) 有形固定資産	1,154,977,843	72.4	1,155,762,503	72.6	100.1	1,116,573,448	71.9	96.7	△ 39,189,055
	イ 土 地	79,472,497	5.0	79,472,497	5.0	100.0	79,472,497	5.1	100.0	(
	口建物	121,353,016	4.9	121,353,016	4.8	97.0	131,328,087	5.5	108.5	9,975,071
	減価償却累計額	△ 43,080,317	4.9	△ 45,410,032	4.0	91.0	△ 46,398,315	5.5	100.5	△ 988,283
	ハ構築物	1,633,174,051	54.3	1,669,516,091	- F - O	100.7	1,588,895,031	FF 0	00.0	△ 80,621,060
	減価償却累計額	△ 767,343,429	04.5	△ 780,515,087	55.9	102.7	△ 735,012,860	55.0	98.6	45,502,227
ĺĺ	ニ 機 械 装 置	186,803,790	- 0	186,803,790	1	01.7	185,492,627	F 0	00.7	△ 1,311,163
資	減価償却累計額	△ 92,857,353	5.9	△ 100,684,074	5.4	91.7	△ 107,753,876	5.0	82.7	△ 7,069,802
	ホー備品	5,433,284	0.1	5,433,284	0.1	74.1	5,433,284	0.1	E4.0	0
	減価償却累計額	△ 3,509,545	0.1	△ 4,007,831	0.1	74.1	△ 4,395,290	0.1	54.0	△ 387,459
	へ 建設仮勘定	11,073,586	0.7	4,288,586	0.3	38.7	0	0.0	0.0	△ 4,288,586
産	ト 建設準備勘定	24,458,263	1.5	19,512,263	1.2	79.8	19,512,263	1.3	79.8	0
	(2) 無形固定資産	1,052,464	0.1	719,219	0.0	68.3	385,974	0.0	36.7	△ 333,245
	イ電話加入権	80,500	0.0	80,500	0.0	100.0	80,500	0.0	100.0	0
	ロ その他無形固定資産	971,964	0.1	638,719	0.0	65.7	305,474	0.0	31.4	△ 333,245
の	(3) 投資その他の資産	232,660	0.0	232,660	0.0	100.0	232,660	0.0	100.0	0
	イ 長期前払費用	32,660	0.0	32,660	0.0	100.0	32,660	0.0	100.0	0
	口 破産更生債権等	7,970,350	0.5	8,109,803	0.5	101.7	7,895,415	0.5	99.1	△ 214,388
	ハその他投資	200,000	0.0	200,000	0.0	100.0	200,000	0.0	100.0	0
部	ニ 貸倒引当金	△ 7,970,350	△ 0.5	△ 8,109,803	△ 0.5	101.7	△ 7,895,415	△ 0.5	99.1	214,388
	2 流 動 資 産	438,570,615	27.5	434,837,485	27.3	99.1	436,074,838	28.1	99.4	1,237,353
	(1) 現 金 預 金	380,748,699	23.9	413,347,929	26.0	108.6	418,332,197	26.9	109.9	4,984,268
	(2) 未 収 金	38,307,494	2.4	22,988,862	1.4	60.0	20,074,617	1.3		△ 2,914,245
	(3) 貸 倒 引 当 金	△ 2,294,107	△ 0.1	△ 2,334,456	△ 0.1	101.8	△ 3,095,560	△ 0.2	134.9	△ 761,104
	(4) 貯 蔵 品	648,342	0.0	834,340	0.1	128.7	737,010	0.0	113.7	△ 97,330
	(5) 前 払 費 用	113	0.0	544	0.0	481.4	18,191	0.0		17,647
	(6) 前 払 金	21,160,000	1.3	0	0.0	0.0	0	0.0		
Ш	(7) その他流動資産	74	0.0	266	0.0	359.5	8,383	0.0		
<u></u>	資 産 合 計	1,594,833,582	100.0	1,591,551,867	100.0	99.8	1,553,266,920	100.0	97.4	△ 38,284,947
	3 固 定 負 債	400,000	0.0	400,000	0.0	100.0	400,000	0.0	100.0	
	(1) その他固定負債	400,000	0.0	400,000	0.0	100.0	400,000	0.0	100.0	
負	4 流 動 負 債	26,518,331	1.7	30,528,611	1.9	115.1	27,112,384		_	
	(1) 未 払 金	10,713,190	0.7	16,172,323	1.0	151.0	12,506,111	0.8		
債	(2) 未 払 費 用	31,500	0.0	14,319	0.0	45.5	0	0.0	0.0	
	(3) 引 当 金	15,651,015	1.0	14,231,598	0.9	90.9	14,503,432	0.9	92.7	
の	イ 賞与引当金	3,204,181	0.2	3,257,064	0.2	101.7	3,528,898	0.2	110.1	271,834
	口修繕引当金	12,446,834	0.8	10,974,534	0.7	88.2	10,974,534	0.7	_	
하기	(4) その他流動負債	122,626	0.0	110,371	0.0	90.0	102,841	0.0		
部	5 繰 延 収 益	127,628,820	8.0	120,001,732	7.5	94.0	109,428,083	7.0		
	(1) 長期前受金	149,321,919	9.4	149,606,675	9.4	100.2	123,437,576	7.9		△ 26,169,099
\square	(2) 収益化累計額	△ 21,693,099	△ 1.4	△ 29,604,943		136.5	△ 14,009,493			
	負 債 合 計	154,547,151	9.7	150,930,343	9.5	97.7	136,940,467	8.8		
	6 資 本 金	1,122,734,366	70.4	1,191,131,366	74.8	106.1	1,234,541,366	79.5		
資	7 剰 余 金	317,552,065	19.9	249,490,158	15.7	78.6	181,785,087	11.7	57.2	
本	(1) 利益剰余金	317,552,065	19.9	249,490,158	15.7	78.6	181,785,087	11.7		
。 の	イ 利益積立金	88,136,879	5.5	70,725,368	4.4	80.2	70,725,368	4.6		
部.	口 建設改良積立金	174,129,697	10.9	130,719,697	8.2	75.1	131,054,790	8.4	75.3	
	ハ 地域観光振興積立金	4,300,000	0.3	4,300,000	0.3	100.0	4,300,000	0.3		
Ш	二 当年度未処分利益剰余金	50,985,489	3.2	43,745,093	2.7	85.8	△ 24,295,071			1
	資本合計	1,440,286,431	90.3	1,440,621,524	90.5	100.0	1,416,326,453	-		
	負債資本合計	1,594,833,582	100.0	1,591,551,867	100.0	99.8	1,553,266,920	100.0	97.4	△ 38,284,947

※ すう勢比率は、平成 28 年度を 100.0 とした。 また、構成比率及びすう勢比率は、小数第 2 位を四捨五入した。

比較キャッシュ・フロー計算書

温泉事業会計

(単位:円)

	平成 29 年度	平成 3	0 年度
	金 額	金 額	対前年度差引額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	335,093	△ 24,295,071	△ 24,630,164
減 価 償 却 費	44,873,054	44,702,836	△ 170,218
固定資産除却損	2,145,531	295,481	△ 1,850,050
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	179,802	546,716	366,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,883	271,834	218,951
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,472,300	0	1,472,300
長期前受金戻入額	△ 7,911,844	△ 7,663,944	247,900
過年度損益修正益(非現金収入)	△ 11,698	△ 2,909,705	△ 2,898,007
過年度損益修正損(非現金支出)	35,506	21,437,115	21,401,609
受取利息及び受取配当金	△ 111,123	△ 69,162	41,961
未収金の増減額 (△は増加)	15,134,797	3,115,317	△ 12,019,480
前払費用の増減額(△は増加)	△ 431	△ 17,647	△ 17,216
前払金の増減額(△は増加)	21,160,000	0	△ 21,160,000
未払金の増減額 (△は減少)	5,459,133	△ 3,666,212	△ 9,125,345
未払費用の増減額(△は減少)	△ 17,181	△ 14,319	2,862
貯蔵品の増減額(△は増加)	△ 174,300	341,985	516,285
その他流動資産の増減額(△は増加)	△ 192	△ 8,117	△ 7,925
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 12,255	△ 7,530	4,725
小計	79,664,475	32,059,577	△ 47,604,898
利息及び配当金の受取額	119,999	82,478	△ 37,521
業務活動によるキャッシュ・フロー	79,784,474	32,142,055	△ 47,642,419
有形固定資産の取得による支出	△ 47,555,000	△ 27,157,787	20,397,213
有形固定資産の売却による収入	85,000	0	△ 85,000
工事負担金による収入	284,756	0	△ 284,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,185,244	△ 27,157,787	20,027,457
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
William Co O I F J J J			
資 金 増 加 額(又は減少額)	32,599,230	4,984,268	△ 27,614,962
資 金 期 首 残 高	380,748,699	413,347,929	32,599,230
資 金 期 末 残 高	413,347,929	418,332,197	4,984,268

[※] 本キャッシュ・フローは間接法によって作成されている。

経 営 分 析 表

温泉事業会計

(単位:%)

平成30年度	平成 29 年度	平成 28 年度	区分年度			
84	100.2	89.2	山梨県	支 比 率	総収	
-	107.4	96.6	全国平均			
			×100	総収益÷総費用	計算式	
が 100%未満の場合	いるかを示す。この比率 えない。	なり、健全な経営とはい 益 + 特別利益		は 、 収益で費用 ○総収益 = 営業	説明	
平成30年度	平成 29 年度	平成 28 年度	区分年度			
95	100.3	89.2	山梨県	支 比 率	経 常 収	
-	114.4	99.6	全国平均			
			費用×100	経常収益÷経常	計算式	
	われているかを示す。こ が生じていることを意味す	6未満の場合は経常損失だ 収益		常利益率が高い ○経常収益 = 営	説明	
平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	区分年度			
98	98.1	98.3	山梨県	構成比率	自己資本	
-	59.3	58.0	全国平均			
	×100	桑延収益)÷負債資本合計	全+評価差額等+約	(資本金+剰余金	計算式	
全 営の安定度が高い	す。この比率が高いほど経	する自己資本の割合を示	率は、総資本に対	自己資本構成比	説明	
平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	区分年度			
73	74.1	73.7	山梨県	長期資本比率	固定資産対	
-	54.5	53.2	全国平均			
	延収益)×100	T差額等+固定負債+繰及	工金+剰余金+評 値	固定資産÷(資本	計算式	
	E資金で賄われているかを な資金を固定資産に投入し				説明	
平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	区分年度			
1,608	1,424.4	1,653.8	山梨県	比 率	流動	
	374.3	506.6	全国平均			
-					- I 66 D	
-			負債×100	流動資産÷流動	計算式	

^{※ 「}全国平均」欄に記載した数値は、地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)の法適用企業その他事業に係る数値を引用した。

地域振興事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業 の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

1 利用者数について

丘の公園については、平成16年4月から指定管理者制度を導入し、平成26年度から 選定された指定管理者が、平成30年度まで施設の管理・運営を行っている。また、令 和元年度から新たに選定された指定管理者が、令和4年度まで施設の管理・運営を行う こととなった。

平成 30 年度の利用者数は、前年度に比べ、レストラン事業部が 3,790 人増加(8.4%)したものの、ゴルフ事業部が 205 人減少(\triangle 0.4%)し、レジャー事業部が 9,643 人減少(\triangle 6.9%)した。その結果、施設全体の利用者数は 6,058 人減少(\triangle 2.6%)し、22 万 5,308 人であった。

施設全体の利用者数は、指定管理者制度導入2年目の平成17年度をピークに漸減傾向にあったが、指定管理者と連携して集客対策に取り組み、平成27年度以降は増加に転じていた。しかしながら、平成30年度においては、前年度の周辺施設における入浴設備の故障などにより増加していた温泉施設の利用者がリピーターとして定着するまでに至らず、前年度に比べ1万2,197人の大幅な減少となり、施設全体の利用者数減少の主な要因となった。

指定管理者の更新に合わせ、施設の適正な規模の確保及び内容の見直しにより、令和元年度からゴルフコースを3コースから2コースに縮小し、廃止したコースは無料開放施設として整備することとなった。今後も施設の効率的、効果的な活用に努めるとともに、指定管理者と協力し、新たな集客策を検討し実践するなど、施設全体の利用者数の増加になお一層努められたい。

2 経営状況について

平成30年度の経営状況は、経常収益の主なものが指定管理者からの施設利用料の1億5,000万円、経常費用の主なものが減価償却費5,924万8,217円や賃借料5,909万4,887円であり、機械備品調達費用負担金が前年度に比べ1,212万3,659円増加したことが主な要因となり、経常利益が前年度に比べ451万8,723円減少し127万2,598円となった。その結果、経常収支比率は100.9%となり、前年度に比べ3.1ポイント低下した。

また、経常利益に、過年度の固定資産の減価償却費修正による特別利益と特別損失を 計上したことから、当年度純利益は124万4,486円となり、前年度に比べ454万6,835円 減少した。その結果、総収支比率は100.8%となり、前年度に比べ3.2ポイント低下した。 経常収益のほぼ全額は指定管理者からの施設利用料であるが、前年度と同様に、平成30年度決算においても第12期分納入金1,350万円が納期限に収納されず未収金となった。本未収金は分割で回収する予定であるが、指定管理者の経営状況について、引き続き十分な把握に取り組み、施設利用料の安定的な確保に努められたい。

また、収益的収支については平成26年度に黒字化が図られ、その後継続して黒字を計上しているが、過去から累積した当年度未処理欠損金は、35億851万64円と依然として多額であることから、今後とも純利益を安定的に確保し、累積欠損金を減少させるため、経営状況の改善に一層努められたい。

3 財政状態について

平成30年度の財政状態は、自己資本構成比率が△10.7%で前年度に比べ136.7ポイント上昇、固定資産対長期資本比率が99.7%で前年度に比べ353.2ポイント上昇、流動比率が115.2%で前年度に比べ113.7ポイント上昇している。いずれの経営指標も大幅に上昇しているが、これは主として、地域振興事業の財務体質を改善するため、建設改良費等の財源に充てるための電気事業会計からの長期借入金32億2,207万1,683円を、平成30年度に電気事業会計からの出資金として資本金勘定に振り替えたことによるものである。

資本合計は、 \triangle 2 億 5,398 万 2,850 円となり、長期借入金を出資金に振り替えたことにより、前年度に比べ債務超過額が 32 億 2,331 万 6,169 円縮小したが、引き続き債務超過となっている。

長期借入金の圧縮により、償還金額の見直し及び償還期間の短縮が図られたが、長期借入金残高は25億6,165万1,960円と依然多額であることから、改めて、長期借入金の圧縮及び償還期間の短縮など、財政状態の更なる改善策について検討されたい。

4 キャッシュ・フローの状況について

平成30年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金が6,184万9,797円増加し、投資活動として有形固定資産の取得に2,362万8,905円を支出し、財務活動として電気事業会計からの長期借入金の返済に2,879万2,094円を支出したことから、平成30年度中の資金額は942万8,798円の増加となっている。

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度純利益が前年度に比べ 454 万 6,835 円減少したが、前年度 914 万 1,843 円取り崩した修繕引当金を平成 30 年度では取り崩さなかったことなどから、前年度に比べ 706 万 594 円増加している。また、建設改良費等の財源に充てるための電気事業会計からの長期借入金を出資金へ振り替えたことにより、償還金額が前年度に比べ 2,672 万 2,242 円減額となり、有形固定資産の取得資金として、前年度に比べ 1,392 万 9,473 円増の 2,362 万 8,905 円支出している。

施設・設備の整備に必要な資金の確保については引き続き厳しい状況にあるが、今後 も、計画的に更新・改修を実施するとしていることから、必要な資金が確実に手当でき るよう、指定管理者からの施設利用料の確保などキャッシュ・フローの適正な管理に努められたい。

5 経営課題について

地域振興事業については、指定管理者制度を導入後、現金収支の黒字化が図られ、平成26年度以降は収益的収支が黒字に転じるなど、経営改善に一定の成果を上げている。また、令和元年度以降の地域振興事業について、外部有識者による「あり方検討委員会」の提言を踏まえ、今後の方針が示され、丘の公園の機能を維持するため指定管理者制度を継続するとともに、施設の規模と内容の見直し、指定管理者からの適正な納入金額への変更、新たな集客策の導入検討、及び施設の計画的な修繕の実施などに取り組むとしている。

丘の公園は八ヶ岳南麓地域の集客拠点として地域の振興に貢献してきた施設であるが、方針に掲げた取組を着実に実行し、健全な経営の確保に努めるとともに、今後の経営戦略の見直しに当たっては、県民福祉の増進に寄与するという企業局の役割を踏まえ、将来にわたる地域振興事業のあり方を十分に展望した計画を検討されたい。

決算の概要

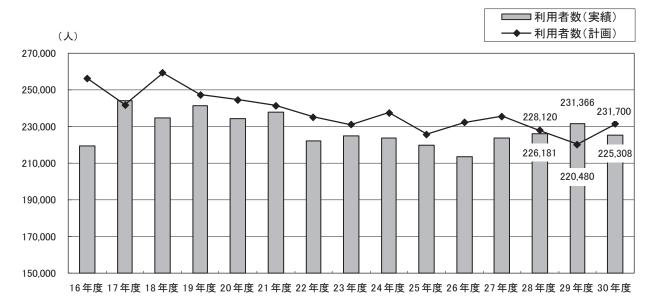
1 事業の概況

総合スポーツ・レクリエーション施設として「丘の公園」を経営し、中核事業の「丘の公園清里ゴルフコース」、温泉利用施設「アクアリゾート清里」、オートキャンプ場、パターゴルフ場、グラウンド・ゴルフ場、まきばレストラン等の運営を行っている。

平成16年4月から、指定管理者制度及び利用料金制を導入し、平成26年度からは清里丘の公園・ニホンターフメンテナンス共同企業体が「丘の公園」の管理を行っている。

平成 30 年度の「丘の公園」の有料施設利用者数(以下「利用者数」という。)の実績は、 $22 \, {\rm F}\, 5,308$ 人で、前年度実績に比べ 6,058 人減少し、計画に対しても 6,392 人下回る結果となっている。利用者数の内訳は、ゴルフ場が $4 \, {\rm F}\, 1,836$ 人、ゴルフ練習場が 5,162 人、アクアリゾート清里が $10 \, {\rm F}\, 1,874$ 人、オートキャンプ場が $1 \, {\rm F}\, 1,163$ 人、パターゴルフ場が 7,062 人、グラウンド・ゴルフ場が 8,122 人、テニスコートが 1,148 人、まきばレストランが $4 \, {\rm F}\, 8,941$ 人である。

グラフ1 利用者数(計画・実績)の推移



(単位:人)

	区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	増 減
ゴ事	ゴルフ場	42,149	41,873	41,836	△ 37
ゴ事 ル業 フ部	ゴルフ練習場	5,475	5,330	5,162	△ 168
フ部	小 計	47,624	47,203	46,998	△ 205
	アクアリゾート	112,099	114,071	101,874	△ 12,197
レ事	オートキャンプ場	10,151	10,625	11,163	538
ジ業	パターゴルフ場	7,557	6,877	7,062	185
	グラウンド・ゴルフ場	5,469	6,118	8,122	2,004
1部	テニスコート	1,599	1,321	1,148	△ 173
	小 計	136,875	139,012	129,369	△ 9,643
l	レストラン事業部	41,682	45,151	48,941	3,790
	合 計	226,181	231,366	225,308	△ 6,058

2 予算及び決算の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア収入(収益)

収益的収入の決算額は1億6,234万9,834円で、予算額1億6,209万8,000円に 比較し、25万1,834円の増となっている。

また、前年度決算額 1 億 6,220 万 4,850 円に比較し、14 万 4,984 円、0.1%の増となっている。

イ 支 出(費用)

収益的支出の決算額は1億5,921万5,037円で、287万963円の不用額があり、 予算額1億6,208万6,000円に対する決算額の割合は98.2%である。

また、前年度の決算額1億5,563万4,376円に比較し、358万661円、2.3%の増となっている。

不用額の主なものは、営業外費用及び予備費である。

(2) 資本的収入及び支出

ア収入

資本的収入の決算額は32億2,207万1,683円で、予算額32億2,208万2,000円に比較し、1万317円の減となっている。

また、前年度決算額0円に比較し、皆増となっている。

イ 支 出

資本的支出の決算額は32億7,638万2,993円で、273万7,007円の不用額があり、 予算額32億7,912万円に対する決算額の割合は99.9%である。

また、前年度の決算額 6,611 万 521 円に比較し、32 億 1,027 万 2,472 円、4,855.9% の増となっている。

不用額の主なものは、地域振興事業設備改良費及び予備費である。

ゥ 収支不足補塡

資本的収入額が資本的支出額に不足する額5,431万1,310円については、当年度 分消費税及び地方消費税資本的収支調整額189万311円、過年度分損益勘定留保 資金3,012万4,293円及び当年度分損益勘定留保資金2,229万6,706円で補塡して いる。

3 経 営 成 績 (別表1 比較損益計算書、別表4 経営分析表参照)

平成 30 年度の経常利益は、経常収益 1 億 5,034 万 3,515 円から、経常費用 1 億 4,907 万 917 円を差し引いた 127 万 2,598 円となっており、前年度に比べ 451 万 8,723 円減少している。

また、当年度純利益は、経常利益に特別利益4,384円を加え、特別損失3万2,496円

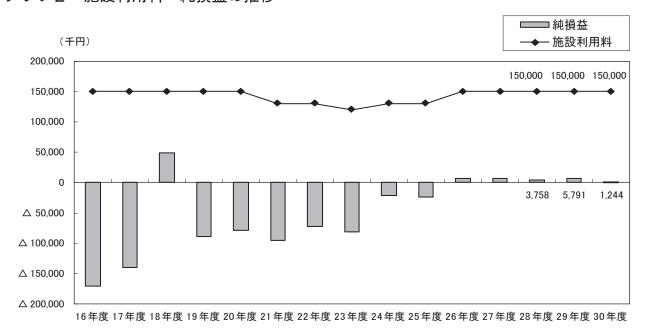
を差し引いた 124万 4,486 円となっており、前年度に比べ 454万 6,835 円減少している。

経常収益の内訳は、営業収益1億5,000万527円と営業外収益34万2,988円であり、営業収益の主なものは、施設利用料としての1億5,000万円、営業外収益は、指定管理者からの納入金遅延利息等のその他雑収益としての34万2,988円である。

経常費用の内訳は、営業費用 1 億 4,876 万 2,650 円と営業外費用 30 万 8,267 円であり、 営業費用の主なものは、減価償却費としての 5,924 万 8,217 円、賃借料としての 5,909 万 4,887 円、負担金及び分担金としての 1,312 万 3,659 円、修繕費としての 1,266 万 7,892 円、営業外費用の主なものは、長期借入金利息としての 25 万 9,925 円である。

特別利益の内訳は、過年度損益修正益としての4,384円、特別損失の内訳は、過年度 損益修正損としての3万2,496円であり、特別利益・特別損失ともに、前年度に比べ、 皆増している。

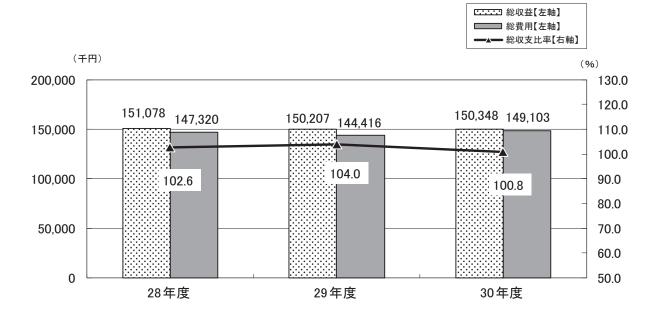
グラフ2 施設利用料・純損益の推移



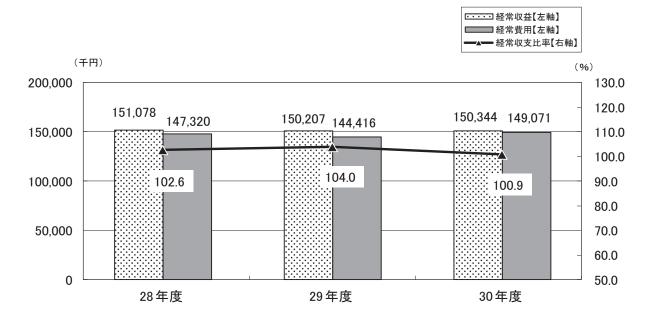
事業の総費用が総収益によって、どの程度賄われているかを示す総収支比率は100.8%と、前年度に比べ総費用が増加し、3.2 ポイントの低下となっている。

また、経常費用が経常収益によって、どの程度賄われているかを示す経常収支比率も100.9%と、前年度に比べ経常費用が増加し、3.1 ポイントの低下となっている。

グラフ3 総収支比率の推移



グラフ4 経常収支比率の推移



4 欠損金計算書及び欠損金処理計算書

○ 欠損金計算書

(1) 資 本 金

前年度末残高 2,500 万円に、平成 30 年度に電気事業会計から受け入れた出資金 32 億 2,207 万 1,683 円を加えた 32 億 4,707 万 1,683 円が、平成 30 年度末残高となっている。

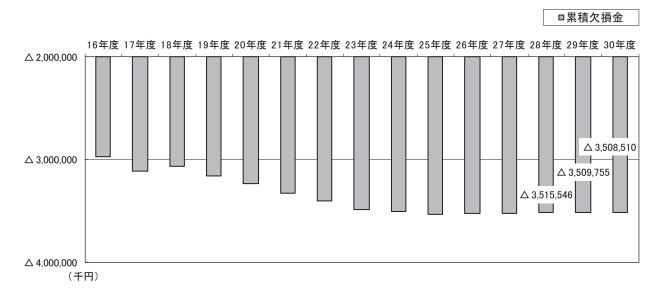
(2) 資本剰余金

前年度末残高から変動はなく、寄附金 745 万 5,531 円が平成 30 年度末残高となっている。

(3) 利益剰余金

前年度未処理欠損金 35 億 975 万 4,550 円から、当年度純利益 124 万 4,486 円を差し引いた 35 億 851 万 64 円が、未処理欠損金の平成 30 年度末残高となっている。

グラフ5 利益剰余金(累積欠損金)の推移



(4) 資本合計

前年度末残高 \triangle 34 億 7,729 万 9,019 円に、電気事業会計から受け入れた出資金 32 億 2,207 万 1,683 円と、当年度純利益 124 万 4,486 円を加えた \triangle 2 億 5,398 万 2,850 円が、平成 30 年度末残高となっている。

○ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金35億851万64円が、翌年度繰越欠損金となっている。

5 財政状態

(別表 2 比較貸借対照表、別表 4 経営分析表参照)

(1) 資 産

資産総額は23億2,755万492円で、前年度に比べ2,884万8,567円の減となっている。 これは主として、建物等の減価償却等により有形固定資産が3,820万8,673円減少 したことによるものである。

(2) 負 債

負債総額は25億8,153万3,342円で、前年度に比べ32億5,216万4,736円の減となっている。

これは主として、建設改良費等の財源に充てるための長期借入金が、32億2,207万1.683円減少したことによるものである。

(3) 資 本

資本総額は \triangle 2 億 5,398 万 2,850 円であり、前年度に比べ 32 億 2,331 万 6,169 円の 増となっている。

これは、電気事業会計からの出資金を受け入れ、資本金が32億2,207万1,683円増加したことと、当年度純利益として124万4,486円計上し、当年度未処理欠損金が同額減少したことによるものである。

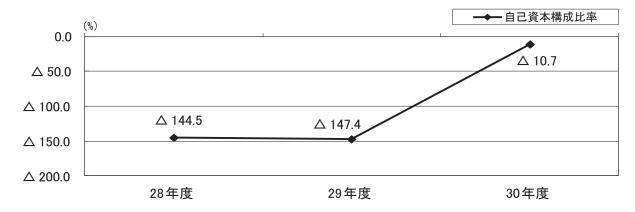
財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、 \triangle 10.7%となっており、前年度に比べ 136.7 ポイントの上昇となっている。

固定資産がどの程度長期安定資金で賄われているかを示す固定資産対長期資本比率は、99.7%となっており、前年度に比べ353.2ポイントの上昇となっている。

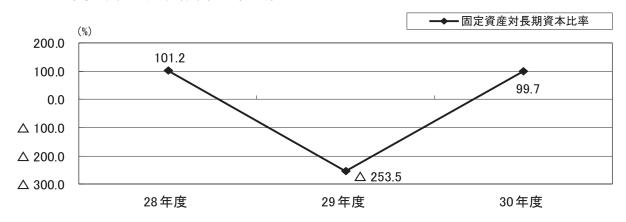
また、短期的な支払い能力を表し、経営の安全性と信用度を示す流動比率は、 115.2%となっており、前年度に比べ113.7 ポイントの上昇となっている。

自己資本構成比率、固定資産対長期資本比率及び流動比率はともに大幅に上昇しているが、これは主として、前年度に流動負債に計上していた建設改良費等の財源に充てるための長期借入金全額を、出資金に振り替えたことによるものである。

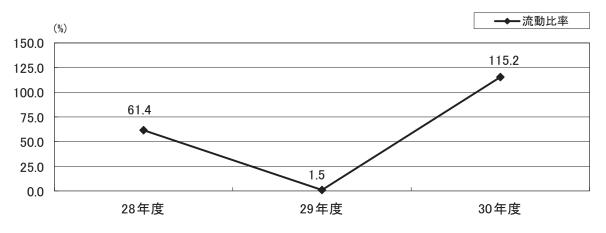
グラフ6 自己資本構成比率の推移



グラフ7 固定資産対長期資本比率の推移



グラフ8 流動比率の推移



6 キャッシュ・フローの状況

(別表3 比較キャッシュ・フロー計算書参照)

業務活動によるキャッシュ・フローは 6,184 万 9,797 円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは 2,362 万 8,905 円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは 2,879 万 2,094 円の減少となり、平成 30 年度中の資金額は 942 万 8,798 円の増加となっている。この結果、前年度末の現金等残高 3,290 万 4,634 円に、平成 30 年度中の資金増加額を加えた 4,233 万 3,432 円が、平成 30 年度末の現金等残高となっている。

業務活動によるキャッシュ・フローは、主として当年度純利益、減価償却費及び固定 資産除却損による資金の増加である。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、全 額有形固定資産の取得による資金の減少であり、財務活動によるキャッシュ・フローは、 主としてその他の他会計借入金の返済による資金の減少である。

7 主な工事等

該当する工事(工事費500万円以上)を実施していない。

比 較 損 益 計 算 書

地域振興事業会計

(単位:円、%)

元代 9	0 年度			亚己 90		単位:円 、 %)
	1	すう勢				対前年度差引額
	州延 年	100.0	150,000,527	一 一	100.0	7月11年及左月頃
- 150,000,527	_	100.0	150,000,527	_	100.0	0
- 143,762,029	_	98.0	148,762,650	_	101.4	5,000,621
- 143,762,029	_	98.0	148,762,650	_	101.4	5,000,621
2 6,238,498	4.2	186.6	1,237,877	0.8	37.0	△ 5,000,621
- 206,956	_	19.2	342,988	_	31.8	136,032
- 206,956	_	19.2	342,988	_	31.8	136,032
- 654,133	_	98.7	308,267	_	46.5	△ 345,866
- 586,801	_	99.1	259,925	_	43.9	△ 326,876
- 67,332	_	95.1	48,342	_	68.3	△ 18,990
5 5,791,321	3.9	154.1	1,272,598	0.8	33.9	△ 4,518,723
- 0	_		4,384	_		4,384
- 0	_		4,384	_		4,384
- 0	_		32,496	_		32,496
- 0	_		32,496	_		32,496
5 5,791,321	3.9	154.1	1,244,486	0.8	33.1	△ 4,546,835
- △ 3,515,545,871	_	99.9	△ 3,509,754,550	_	99.7	5,791,321
- △ 3,509,754,550	_	99.8	△ 3,508,510,064	_	99.8	1,244,486
- 150,207,483	_	99.4	150,343,515	_	99.5	136,032
- 144,416,162	_	98.0	149,070,917	_	101.2	4,654,755
- 150,207,483	_	99.4	150,347,899	_	99.5	140,416
	章 金 額	- 150,000,527	章 金額 利益率 記う製 - 150,000,527 - 100.0 - 150,000,527 - 100.0 - 143,762,029 - 98.0 - 143,762,029 - 98.0 - 206,956 - 19.2 - 206,956 - 19.2 - 654,133 - 98.7 - 586,801 - 99.1 - 67,332 - 95.1 - 67,332 - 95.1 - 67,332 - 95.1 - 5,791,321 3.9 154.1 - 0 - 0 - 0 - 150,207,483 - 99.8 - 150,207,483 - 99.4 - 144,416,162 - 98.0	# 金額 利益率 売う撃 金額 150,000,527 - 100.0 150,000,527 - 100.0 150,000,527 - 100.0 150,000,527 - 143,762,029 - 98.0 148,762,650 - 143,762,029 - 98.0 148,762,650 - 19.2 342,988 - 206,956 - 19.2 342,988 - 206,956 - 19.2 342,988 - 654,133 - 98.7 308,267 - 586,801 - 99.1 259,925 - 67,332 - 95.1 48,342 - 0 - 4,384 - 0 - 4,384 - 0 - 4,384 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,496 - 0 - 32,509,754,550 - 99.8 △ 3,509,754,550 - 99.8 △ 3,509,754,550 - 144,416,162 - 98.0 149,070,917	# 金 額 利益率	※ 金 額 利益率

[※] 利益率は、営業収益に対する営業利益、経常利益、当年度純利益の割合を示した。 すう勢比率は、平成28年度を100.0とした。 また、利益率、すう勢比率とも小数第2位を四捨五入した。

比 較 貸 借 対 照 表

地域振興事業会計

(単位:円、%)

							Y .			Υ			(単位:円、%)
		_	_	区分	平成 28 年		平成 2	29 年度			平成 30		
科	H				金 額	構成 比率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	金 額	構成 比率	すう勢 比 率	対前年度差引額
	1 固		定	資 産	2,362,437,521	98.1	2,308,702,351	98.0	97.7	2,270,481,918	97.5	96.1	△ 38,220,433
	(1)	有	形固氮	芒資 産	2,360,160,771	98.0	2,306,338,091	97.9	97.7	2,268,129,418	97.4	96.1	△ 38,208,673
	イ	-	±.	坦	5,790,934	0.2	5,790,934	0.2	100.0	5,790,934	0.2	100.0	0
	口	3	建	物	2,336,976,900	29.5	2,336,798,286	28.4	94.3	2,338,242,987	27.3	89.4	1,444,701
		ì	減価償去	1累計額	$\hat{\mathfrak{l}} \triangle 1,626,729,182$	49.0	△ 1,666,717,069	20.4	34.0	\triangle 1,702,956,176	21.0	09.4	△ 36,239,107
資	/\	1	構 築	连 物	3,968,019,431	65.8	3,964,331,607	66.4	98.8	3,964,331,607	66.7	98.0	0
		ì	減価償去	1累計額	ĺ △ 2,383,640,607	05.0	△ 2,398,885,345	00.4	90.0	△ 2,412,191,948	00.7	90.0	△ 13,306,603
産	=	1	機械	装置	799,834,075	2.2	808,166,824	2.4	109.6	802,704,824	2.4	106.8	△ 5,462,000
		ì	減価償去	1累計額	ĺ △ 747,879,426	4.4	△ 751,238,868	2.4	109.0	△ 747,232,116	2.4	100.0	4,006,752
	ホ	1	備		118,846,305	0.3	119,313,905	0.3	103.9	106,559,099	0.8	249.6	△ 12,754,806
の		ì	減価償去	1累計額	ĺ △ 111,057,659	0.5	△ 111,222,183	0.5	105.9	△ 87,119,793	0.0	249.0	24,102,390
	(2)	無	形固氮	官 資 産	2,276,750	0.1	2,364,260	0.1	103.8	2,352,500	0.1	103.3	△ 11,760
部	イ	Í	電話加	入権	2,249,600	0.1	2,249,600	0.1	100.0	2,249,600	0.1	100.0	0
	口		その他無形	固定資産	27,150	0.0	114,660	0.0	422.3	102,900	0.0	379.0	△ 11,760
	2 流		動	資 産	44,795,314	1.9	47,696,708	2.0	106.5	57,068,574	2.5	127.4	9,371,866
	(1)	現	金	預金	43,446,799	1.8	32,904,634	1.4	75.7	42,333,432	1.8	97.4	9,428,798
	(2)	未	収	金	77,000	0.0	13,572,000	0.6	17,626.0	13,552,000	0.6	17,600.0	△ 20,000
	(3)	貯	蔵		1,271,515	0.1	1,220,074	0.1	96.0	1,183,142	0.1	93.0	△ 36,932
	資	産	合	計	2,407,232,835	100.0	2,356,399,059	100.0	97.9	2,327,550,492	100.0	96.7	△ 28,848,567
	3 固		定 1	負債	5,812,515,737	241.5	2,561,651,960	108.7	44.1	2,527,183,035	108.6	43.5	△ 34,468,925
	(1)	他	会計信	告入 金	5,812,515,737	241.5	2,561,651,960	108.7	44.1	2,527,183,035	108.6	43.5	△ 34,468,925
負	イ	Ž.	建設改良費 充てるための	等の財源に)長期借入金	3,222,071,683	133.8	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
	口	2	その他の長	期借入金	2,590,444,054	107.6	2,561,651,960	108.7	98.9	2,527,183,035	108.6	97.6	△ 34,468,925
	4 流		動 1	負債	72,977,438	3.0	3,267,216,118	138.7	4,477.0	49,520,307	2.1	67.9	△ 3,217,695,811
債.	(1)	他	会計信	告入 金	55,514,336	2.3	3,250,863,777	138.0	5,855.9	34,468,925	1.5	62.1	△ 3,216,394,852
IŲ [イ	Ž.	建設改良費 充てるための	等の財源に)長期借入金	29,724,821	1.2	3,222,071,683	136.7	10,839.7	0	0.0	0.0	△ 3,222,071,683
	口	2	その他の長	類借入金	25,789,515	1.1	28,792,094	1.2	111.6	34,468,925	1.5	133.7	5,676,831
の	(2)	未	払	金	3,275,660	0.1	11,113,422	0.5	339.3	10,005,783	0.4	305.5	△ 1,107,639
	(3)	引	当	金		0.6	5,045,599	0.2	35.6	5,045,599	0.2	35.6	0
	イ		修繕引			0.6	5,045,599	0.2	35.6	5,045,599	0.2		0
部	(4)		の他流	動負債	0	0.0	193,320	0.0		0	0.0		△ 193,320
	5 繰			又益		0.2	4,830,000	0.2	100.0	4,830,000	0.2		0
		長		受 金		0.3	8,138,550	0.3	100.0	8,138,550	0.3		
	(2)	収	益化界	表計 額	△ 3,308,550	△ 0.1	△ 3,308,550	△ 0.1	100.0	△ 3,308,550	△ 0.1	100.0	0
	負	債	合	計	5,890,323,175	244.7	5,833,698,078	247.6	99.0	2,581,533,342	110.9	43.8	△ 3,252,164,736
	6 資		本	金		1.0	25,000,000	1.1	100.0	3,247,071,683	139.5	12,988.3	
資	7 剰		余	金				△ 148.6	99.8	△ 3,501,054,533		99.8	
本	(1)			余 金		0.3	7,455,531	0.3	100.0	7,455,531	0.3	100.0	0
の 対7	イ		寄 降			0.3	, ,	0.3	100.0	7,455,531	0.3	100.0	0
部	(2)			余 金	_	△ 146.0	△ 3,509,754,550	△ 148.9	99.8	△ 3,508,510,064	△ 150.7	99.8	1,244,486
	イ	7	当年度未処分	利益剰余金	△ 3,515,545,871	△ 146.0	△ 3,509,754,550	△ 148.9	99.8	△ 3,508,510,064	△ 150.7	99.8	1,244,486
	資	本	合	計	△ 3,483,090,340	△ 144.7	△ 3,477,299,019	△ 147.6	99.8	△ 253,982,850	△ 10.9	7.3	3,223,316,169
	負債	資	本 合	計	2,407,232,835	100.0	2,356,399,059	100.0	97.9	2,327,550,492	100.0	96.7	△ 28,848,567

[※] すう勢比率は、平成 28 年度を 100.0 とした。 また、構成比率及びすう勢比率は、小数第 2 位を四捨五入した。

比較キャッシュ・フロー計算書

地域振興事業会計

(単位:円)

		Ji-4 00 /Jr	00 4-iT	(単位:円)	
		平成 29 年度 金 額	平成 30 金 額	対前年度差引額	
1		亚 和	业切	八刊中文左刊版	
	当年度純利益	5,791,321	1,244,486	△ 4,546,835	
	減価償却費	62,918,195	59,248,217	△ 3,669,978	
	固定資産除却損	634,007	2,573,009	1,939,002	
		· .			
	修繕引当金の増減額(△は減少)	△ 9,141,843	0	9,141,843	
	過年度損益修正益	0	△ 4,384	△ 4,384	
	過年度損益修正損	0	32,496	32,496	
	支 払 利 息	586,801	259,925	△ 326,876	
	未収金の増減額(△は増加)	△ 13,495,000	20,000	13,515,000	
	未払金の増減額(△は減少)	7,837,762	△ 1,107,639	△ 8,945,401	
	貯蔵品の増減額(△は増加)	51,441	36,932	△ 14,509	
	その他流動負債の増減額(△は減少)	193,320	△ 193,320	△ 386,640	
	/J\ ====================================	55,376,004	62,109,722	6,733,718	
	利息の支払額	△ 586,801	△ 259,925	326,876	
	業務活動によるキャッシュ・フロー	54,789,203	61,849,797	7,060,594	
2					
	有形固定資産の取得による支出	△ 9,699,432	△ 23,628,905	△ 13,929,473	
	無形固定資産の取得による支出	△ 117,600	0	117,600	
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,817,032	△ 23,628,905	△ 13,811,873	
3					
	建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△ 29,724,821	△ 3,222,071,683	△ 3,192,346,862	
	その他の他会計借入金の返済による支出	△ 25,789,515	△ 28,792,094	△ 3,002,579	
	他会計からの出資による収入	0	3,222,071,683	3,222,071,683	
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 55,514,336	△ 28,792,094	26,722,242	
資	金 増 加 額(又は減少額)	△ 10,542,165	9,428,798	19,970,963	
資金	金期首残高	43,446,799	32,904,634	△ 10,542,165	
 資 st	金期末残高	32,904,634	42,333,432	9,428,798	

[※] 本キャッシュ・フローは間接法によって作成されている。

経 営 分 析 表

地域振興事業会計

(単位:%)

		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
総収	支 比 率	山梨県	102.6	104.0	100.
		全国平均	120.8	106.7	-
計算式	総収益÷総費用	J×100			
説明	は、収益で費用 ○総収益 = 営		なり、健全な経営とはい 益 + 特別利益	ているかを示す。この比≊ いえない。	率が 100%未満の場合
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経 常 収	支 比 率	山梨県	102.6	104.0	100.
		全国平均	120.1	118.0	-
計算式	経常収益÷経常	ご費用×100			
説明	常利益率が高い ○経常収益 = 1		6未満であることは経常 収益	有われているかを示す。こ 損失が生じていることを	
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
自己資本	構成比率	山梨県	△ 144.5	△ 147.4	△ 10.
		全国平均	66.9	68.1	-
計算式	(資本金+剰余金	金+評価差額等+縞	桑延収益)÷負債資本合詞	+×100	
説明	自己資本構成比	本は、総資本に対す	- る自己資本の割合を示	す。この比率が高いほど	経営の安定度が高い
		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
固定資産対	長期資本比率	山梨県	101.2	△ 253.5	99.
		全国平均	77.4	82.5	-
計算式	固定資産÷(資	本金+剰余金+評価	五差額等+固定負債+繰	延収益)×100	
説明				定資金で賄われているか な資金を固定資産に投入	
1		区分年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
流 動	比 率	山梨県	61.4	1.5	115.
		全国平均	871.8	240.0	
計算式	流動資産÷流動				

^{※ 「}全国平均」欄に記載した数値は、地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)の法適用企業の観光施設その他事業に係る数値を引用した。